ビデオ、DVDレコーダーなどの録画機器を接続する

S映像出力端子付のビデオをご使用のときは、S映像コードで接続されることをおすすめします。より良い画質でビデオを楽しめます。（図の同じ記号のところに接続してください。）
また、入力自動録画 108 や IR コントローラー機能 198 により録画予約が簡単に行えます。

110度CS対応 BSデジタルアンテナ

AVCステーション後面

U/Vアンテナ

ビデオ/DVDレコーダー

U/Vアンテナ出力（テレビへ）

U/Vアンテナ入力（アンテナから）

メモ

デジタル録画出力 / モニター出力端子について

- デジタル ch 固定「切」時は、画面に映っている映像・音声を出力します。デジタル ch 固定については 107 をご覧ください。デジタル ch 固定「入」時は、デジタル放送の映像・音声が出力されます。デジタル録画出力の設定については、109 をご覧ください。
- 番組表、データ放送画面は出力されません。
- メニューの「初期」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ）」を「しない」に設定している 194 ビデオ入力の映像と音声は出力されません。ビデオの外部入力を使用して録画する場合は、「しない」に設定してください。
- コンポーネント入力や PC 入力時は、モニター出力端子からは出力されません。
- ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。
- メニューの「その他」「入力自動録画」を「する」に設定している 108 ときは、予約録画が開始されるまで、映像と音声は出力されません。

S2 映像端子について

明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S2 映像が優先されます。本機はフルモード制御信号の入った映像が、ビデオ 1, 2, 3 の S2 映像入力端子より入力されるとワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。

モニター出力の「S2 映像」端子について

ビデオ 1, 2, 3 の「S2 映像入力」と、デジタル放送の信号が出力されます。

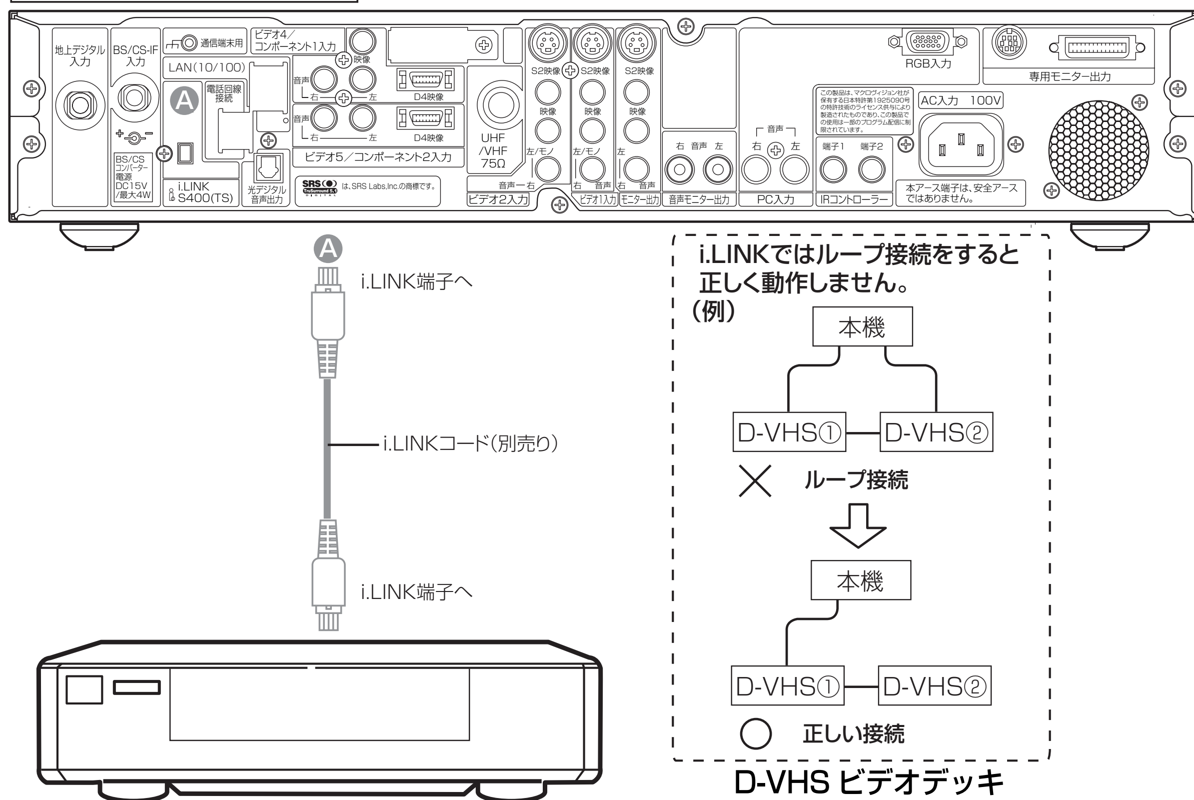
お知らせ

- 接続時は必ず各機器の電源を切ってください。（接続コード別売）
- アンテナ線は AVC ステーションとビデオ両方に接続します。受信方式などの違いによって、接続のしかたが異なりますので、詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 録画予約をするときは、101 をご覧ください。
- 「IR コントローラーを接続する」131 と、「IR コントローラーを設定する」198 を行ってください。

※ D 端子ピンケーブルは別売品（TP-CDP01［1.5 m］）をお求めください。

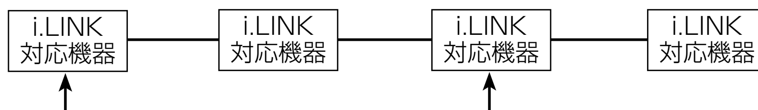
i.LINK 対応の D-VHS ビデオデッキなどとの接続

本機の i.LINK 端子には、i.LINK 対応の D-VHS デジタルハイビジョンビデオデッキなどが接続できます。
i.LINK 接続すると D-VHS ビデオデッキなどへ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
i.LINK については、118 をご覧ください。
（図の同じ記号のところに接続してください）



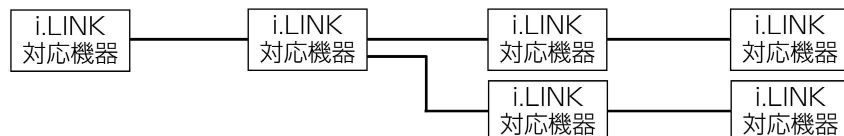
i.LINK の接続方法

● i.LINK 対応機器の接続は i.LINK コードで接続します。最大 17 台まで接続することができます。



データは接続したすべての i.LINK 対応機器に流れます。操作したい i.LINK 対応機器の間に別の i.LINK 対応機器が接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

● i.LINK 端子が 3 端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大 63 台まで接続することができます。



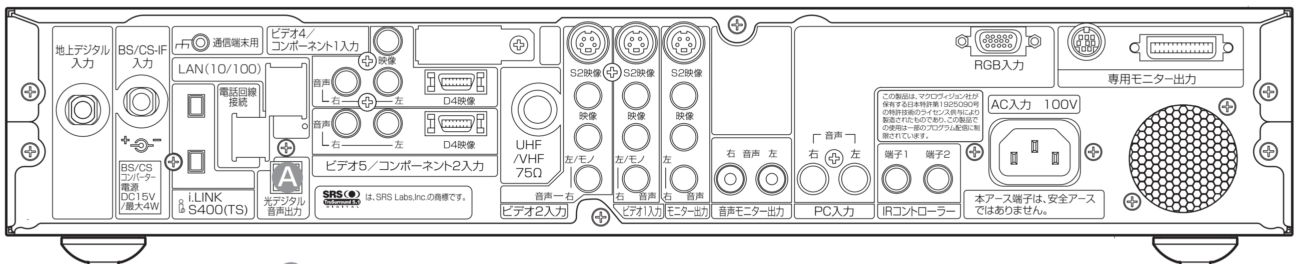
お知らせ

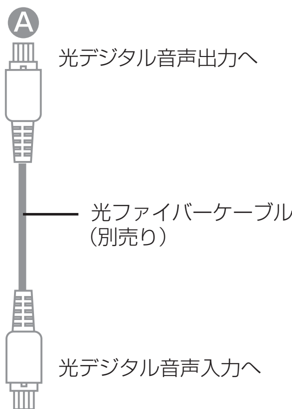
- ●本機は最大転送速度が 400Mbps のため、S400 対応以上の 4 ピン i.LINK コード（別売り）をご使用ください。
- ● i.LINK コードはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- ●接続する機器の取扱説明書も参照ください。
- ●本機と D-VHS ビデオデッキなどとのアナログ接続を行う場合は、178 を参考に接続してください。
- ● i.LINK 対応機器は、2 つある i.LINK 端子のどちらに接続しても使用できます。
- ● i.LINK コードをモニターに近付けると、映像・音声が乱れたり、誤動作を起こす場合があります。i.LINK コードは、モニターからできるだけ離して配線してください。
- ● i.LINK 対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器の i.LINK コードを外したり、接続したり、電源のオン／オフは行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
- ●接続が輪（ループ接続）にならないようにしてください。データを送信した i.LINK 対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
- ● i.LINK 対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続する i.LINK 対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK 待機」の設定で電源オフ時の i.LINK 制御の設定を切換えできます。201
- ●パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。

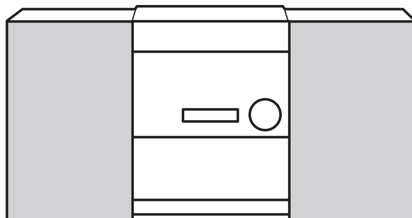
デジタル音声入力端子付き オーディオ機器との接続

本機の光デジタル音声出力端子に、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器を接続することができます。
また、本機は MPEG-2 AAC フォーマット方式で出力することもできるので、AAC 方式対応のオーディオ機器にも接続できます。
AAC 方式の出力をご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。55
（図の同じところに接続してください。）

AVCステーション後面







サンプリングレートコンバーター内蔵
または AAC デコーダー内蔵のオーディオ機器

お知らせ

- 本機の光デジタル音声出力端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。光ファイバーケーブルのプラグ部を持って、そのままゆっくりと端子にまっすぐに差し込んでください。
- 本機は、放送局側の音声サンプリング周波数に対応した光デジタル音声信号を出力します。このため、接続できる機器は、サンプリングレートコンバーターを内蔵したアンプや MD レコーダーなどに限定されます。
- デジタル番組（AAC）は音声切換ボタンを押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。
- AAC 方式の出力をご利用になるには、「メニュー」の「各種設定」「音声」の「デジタル音声出力」を「AAC」に設定する必要があります。55（お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。）
- 地上アナログ放送やビデオ入力、PC 入力をご覧になっているときの光デジタル音声は、「メニュー」の「デジタル音声出力」の設定にかかわらず「PCM」出力します。

メ モ

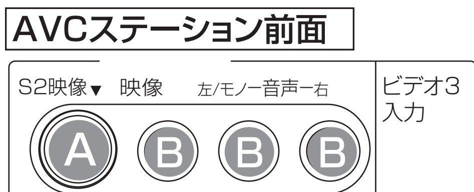
AAC（Advanced Audio Coding）について

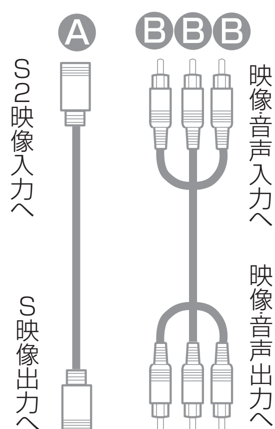
AAC とは、音声符号化の規格の一つです。AAC は、CD（コンパクトディスク）並の音質データを約 1/12 にまで圧縮できます。また、5 チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

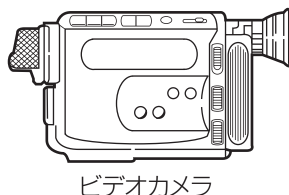
ビデオカメラとの接続

（図の同じ記号のところに接続してください）

AVCステーション前面







ビデオカメラ

1 入力切換ボタンで「ビデオ 3」を選択する

画面に「ビデオ 3」の表示が出ます。



ビデオ3

2 ビデオカメラを操作する

メ　モ

S2 映像端子について

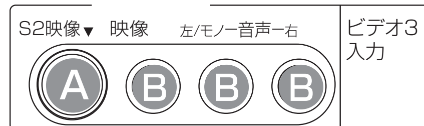
明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方に接続されている場合は、S2 映像が優先されます。

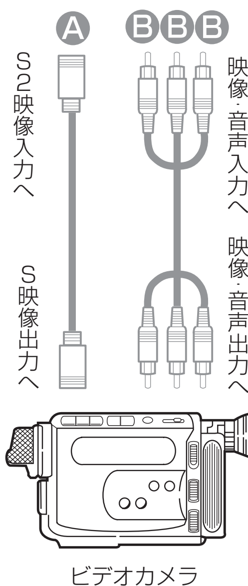
本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ 1，2，3 の S2 映像入力端子より入力されると、ワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。41

画面を見ながら テープ編集をするときの接続

（図の同じ記号のところに接続してください）

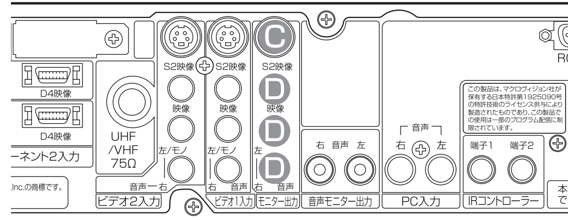
AVCステーション前面

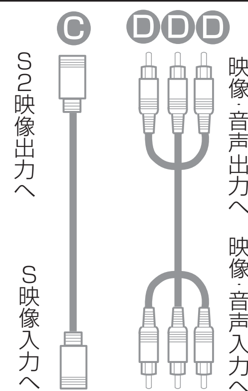


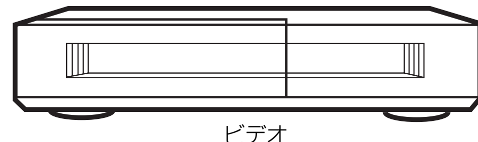


ビデオカメラ

AVCステーション後面







ビデオ

1 入力切換ボタンで「ビデオ 3」を選択する

ビデオ 1、ビデオ 2 入力に接続された機器を編集するときは，「ビデオ 1」「ビデオ 2」を選択する。



ビデオ3

2 ビデオを外部入力に合わせる

詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ビデオを録画状態にする

メ モ

- ●ビデオの録画状態の設定については、お手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- ●モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切り換え、チャンネル切り換えをしないでください。また、マルチ画面や 2 画面、かんたんチェックの操作もしないでください。

モニター出力端子について

- ●コンポーネント入力および PC 入力時の映像と音声は、モニター出力端子からは出力されません。
- ●モニター出力は画面に映っている映像・音声を出力しますが、ワイド処理された信号は出力されません。
- ●ゴースト低減された映像は、モニター出力端子からは出力されません。
- ●モニター出力の S2 映像出力は、デジタル放送やビデオ 1, 2, 3 端子に入力した S2 映像をご覧になっているときに出力されます。
- ●ビデオ 1 ～ 4 入力については、ビデオ入力端子ごとにモニター出力を「する」「しない」の設定ができます。194 をご覧ください。
- ●マルチ画面のときのモニター出力映像は、2 画面のときは選んでいる画面が、4 画面のときは親画面の映像と音声が出力されます。

お知らせ

- ●メニューの「初期」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ）」を「しない」に設定している 194 ビデオ入力の映像と音声は出力されません。
- ●メニューの「その他」「入力自動録画」を「する」に設定している 108 ときは、予約録画が開始されるまで映像と音声は出力されません。

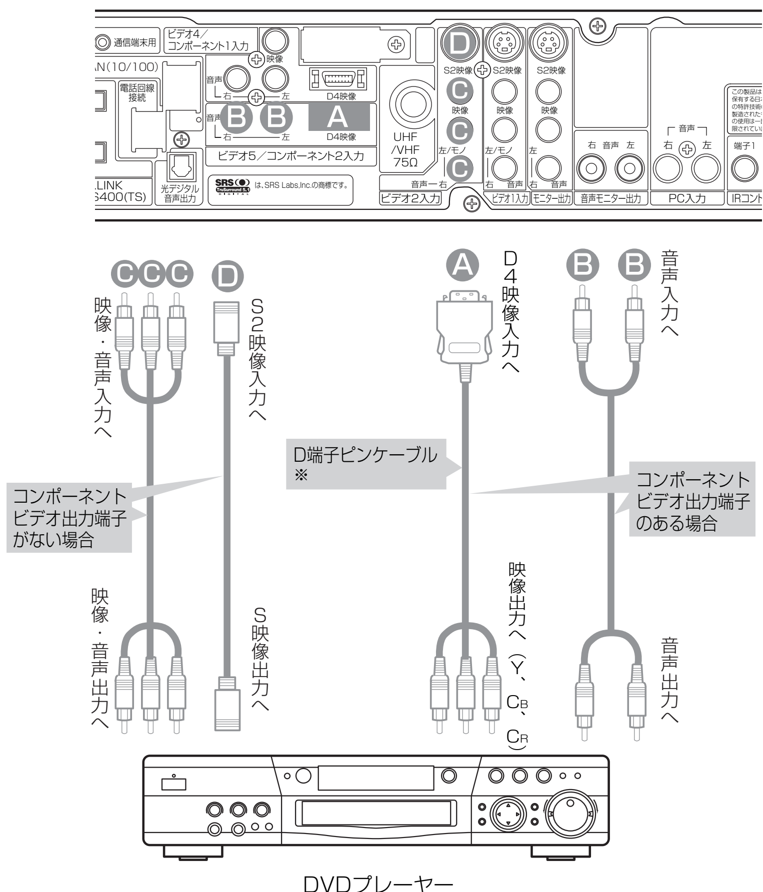
DVD プレーヤーとの接続

（図の同じ記号のところに接続してください）

準　　備

「コンポーネント 2 設定」を「オート」に設定する。197
お買い上げ時は「オート」に設定されています。

AVCステーション後面



DVDプレーヤー

1 入力切換ボタンで「ビデオ 5」選択する

ビデオ 2 入力に接続したときは「ビデオ 2」にします。



2 DVD プレーヤーを操作する

メ　モ

S2 映像端子について

明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。S2 映像入力端子と映像入力端子が両方に接続されている場合は、S2 映像が優先されます。
本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ 1, 2, 3 の S2 映像入力端子より入力されると、ワイドモードは自動的にワイド画面一杯に表示されます。41

コンポーネント入力端子について

- コンポーネント入力端子（D4 映像）は DVD プレーヤーおよび将来実用化予定のデジタル機器のコンポーネント映像信号（525i（480i)、525p（480p)、1125i（1080i)、750P（720P）信号）を接続できます。1125i（1080i)、750P（720P）信号を入力時は、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換えます。
- コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。

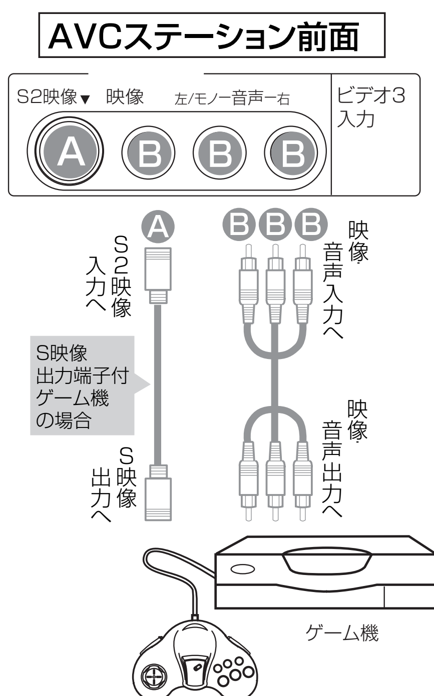
※ D 端子ピンケーブルは別売品（TP-CDP01［1.5m]）をお求めください。

設置

外部機器と接続したいとき（つづき）

ゲーム機との接続

（図の同じ記号のところに接続してください）



1 テレビゲーム本体とAVCステーション前面のビデオ３入力端子を接続する

2 入力切換ボタンで「ビデオ３」を選ぶ



テレビまたはデジタルチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

3 ゲーム機を操作する

ゲームモードについて

ゲームモードの設定 194 を「入」に設定すると、ビデオ３映像画面を選んだとき、自動的に次のような設定が行われます。

●映像モードはナチュラルに切り換わります。ゲーム画面でも映像モードは切り換えることができます。

●ビデオ３を選ぶと、時間が経過（１時間、１時間30分、…最大４時間）するごとに、時間を表示します（約５秒間）。表示時間を目安に適度な休憩をとり、お楽しみください。一度電源を「切」にすると、経過時間が０に初期化されます。

お知らせ

プラズマテレビの焼き付きについて

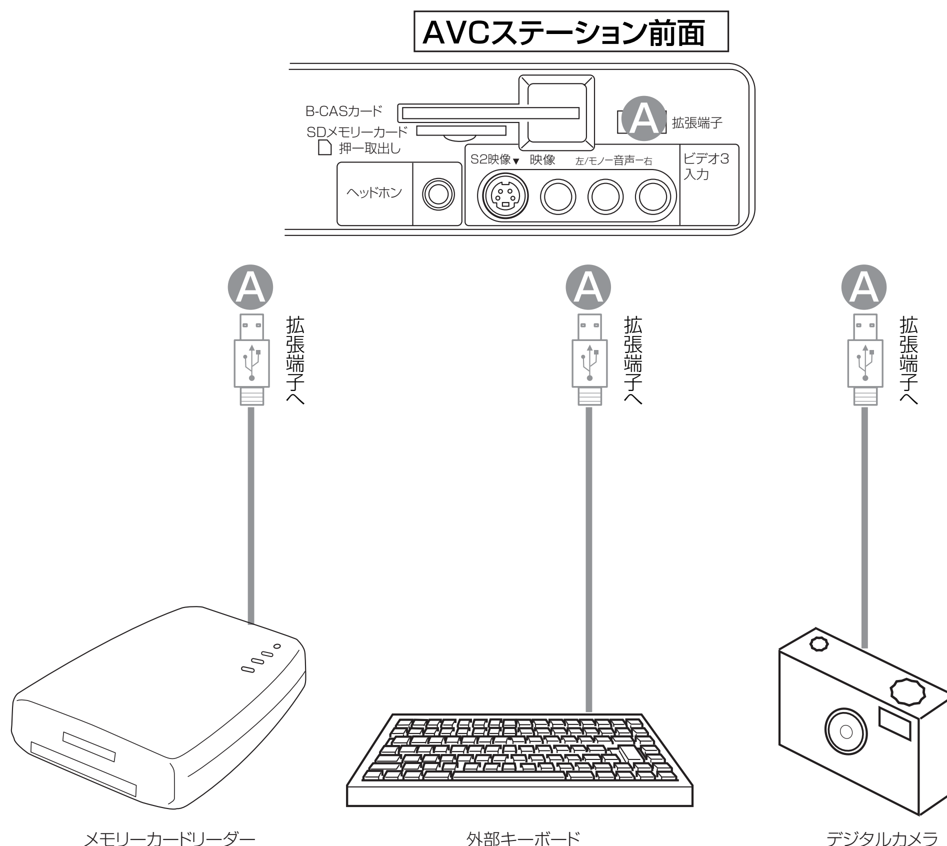
●ゲーム機などで固定映像を長時間または繰り返し表示させた場合、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
焼き付きが軽度の場合は白パターンを表示する 76 または動画を映すことにより目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

●ゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。

●ライフルタイプやガン（銃）タイプのコントローラを使用するシューティングゲームなどは、本機では使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトおよびコントローラの取扱説明書をご覧ください。

拡張機器との接続

本機の拡張端子に、メモリーカードリーダーやデジタルカメラを接続すると、拡張機器にあるメモリーカードの静止画像を再生することができます。
デジタルカメラの静止画を再生するには、「写真を見る」67をご覧ください。
また、本機の拡張端子に対応するキーボードを接続すると、文字入力をする場合に、接続したキーボードで文字を入力することができます。文字の入力方法については「文字を入力するには」90、「外部キーボードで文字を入力する」96をご覧ください。
（図の同じ記号のところに接続してください）



お守りください

- 拡張端子とメモリーカードリーダー、デジタルカメラ、外部キーボードとの接続および取り外しは、AVC ステーションの電源がオフ（機能待機ランプも消灯）の状態で行ってください。
- 各種メモリーカードのメモリーカードリーダーへの挿入および取り外しも、AVC ステーションの電源がオフ（機能待機ランプも消灯）の状態で行ってください。
- 途中でメモリーカードのデータが読めなくなった場合は、電源をオフしてメモリーカードを挿入し直し、電源投入からやり直してください。
- 本機の拡張端子には、メモリーカードリーダー、デジタルカメラ、外部キーボード以外の機器を接続しないでください。

お知らせ

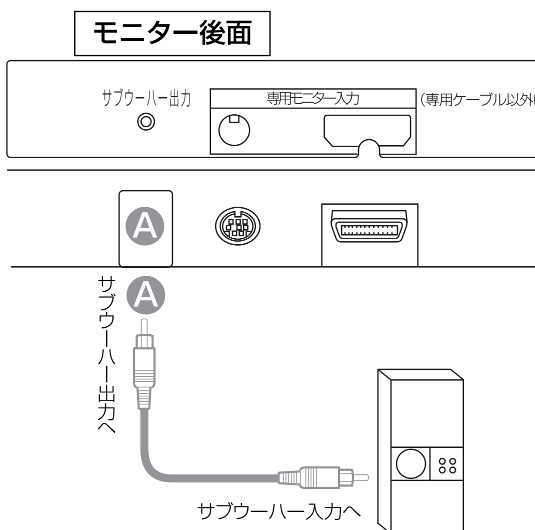
- デジタルカメラとの接続には、USB ケーブルをご使用ください。ただし、接続できるデジタルカメラは USB マスストレージクラスか PTP 方式に対応している必要があります。また、本機から接続したデジタルカメラを操作することはできません。
- 本機で表示できる画像データは、DCF 規格に準拠した画像データです。
- 本機では、メモリーカードリーダーに挿入されたメモリーカードへの書き込みには対応していません。
- 本機の拡張端子は、一般的な USB 機器に対応するものではありません。
- 大切なデータは、バックアップを取って置くことをおすすめします。
- 本機の対応する外部キーボードは、下記の 2 種類となります (推奨キーボード)。
  - ・エレコム (株) 製ロングケーブル USB フルキーボード　：TK-U12FYLBK
  - ・(株) ロジクール製コードレスキーボード　：CK-36
- 動作確認できているメモリーカードリーダー、デジタルカメラについては下記 URL をご覧ください。
  HITACHI AV-World ホームページ　http://av.hitachi.co.jp/
  ※動作確認できている機器でも、うまく動作しないことがあります。

オーディオ機器との接続

ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。
（図の同じ記号のところに接続してください）

モニターのサブウーハー出力端子へ接続する場合

モニターのサブウーハー出力は本機により音量、音質など調節された低音を出力します。
専用オプションのサブウーハーを接続してください。



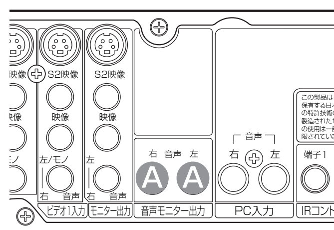
1 本機で音量を調節する

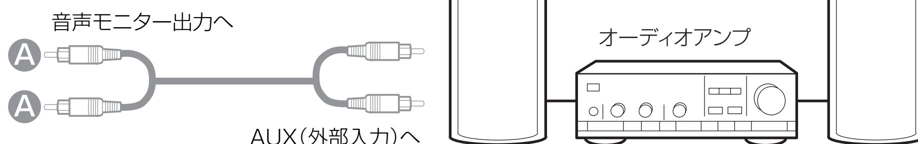
接続したサブウーハーの音量は、本体のスピーカー音量に合せて固定してください。
音量調節などは本機で行えます。

お知らせ

サブウーハーなどの接続方法は、その機器の取扱説明書をご覧ください。

AVC ステーションの音声モニター出力端子へ接続する場合





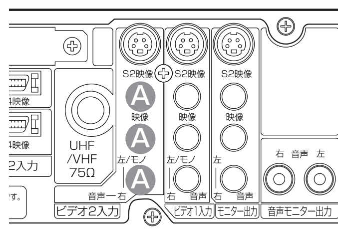
1 接続したステレオ装置などで音量を調節する

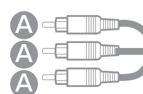
ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

CATV ホームターミナルとの接続

CATV の受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）はアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV 会社にご相談ください。

AVCステーション後面





詳しくは CATV ホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。

映像･音声入力へ

映像･音声出力へ

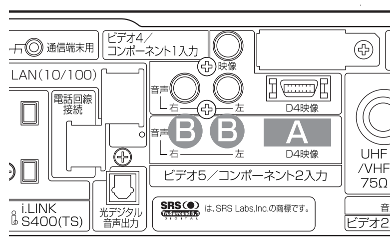
CATVケーブル

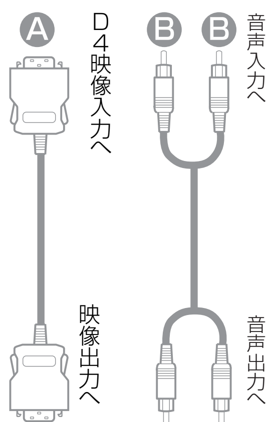
CATVホームターミナル

将来実用化予定のデジタル機器との接続

将来実用化予定のデジタル放送環境に対応したデジタル機器に接続することができます。
（図の同じ記号のところに接続してください）

AVCステーション後面





デジタル機器

1 入力切換ボタンで「ビデオ 5」にする

画面に「ビデオ 5」の表示が出ます。



ビデオ5
コンポーネント2

2 デジタル機器を操作する

詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

メモ

コンポーネント入力端子について

- ●コンポーネント入力端子（D4 映像）は、将来実用化予定のデジタル機器の D 映像信号を接続できます。本機は D 映像信号の 525i（480i）、525p（480p）、1125i（1080i）、750P（720P）に対応しています。1125i（1080i）、750P（720P）信号を入力時は、映像を適切な画面サイズに自動的に切り換えます。
- ●コンポーネント入力の映像と音声はモニター出力端子に出力されません。
- ●詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

将来発売予定の機器との接続について

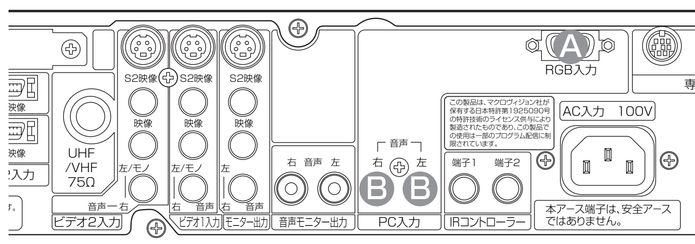
テレビ関連機器の中には現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。
使いかたなど、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

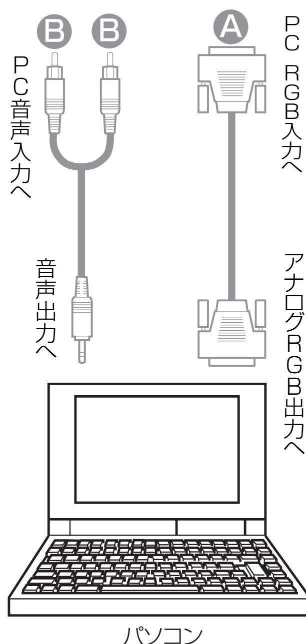
外部機器と接続したいとき（つづき）

PC（パソコン）との接続

（図の同じ記号のところに接続してください）

AVCステーション後面





パソコン

1 入力切換ボタンで「PC」にする

画面に「PC」の表示が出ます。

入力切換





2 パソコンを操作する

詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

モニター出力端子について

PC 入力画面と音声はモニター出力端子には出力されません。

接続について

●パソコンを接続するときは、RGB 接続コード（別売り）が必要です。
パソコンによっては、パソコンでオプション設定されている変換コネクタが必要な場合があります。

● RGB 接続コードは、接続コードに付属されたネジなどにより、本機にしっかりと取り付けることをおすすめします。

● PC(RGB) 入力端子は、プラグ＆プレイには対応しておりません。接続するパソコンによっては、映像表示ができない場合があります。

プラグ＆プレイについて

プラグ＆プレイは、パソコンと表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。本機は VESA DDC 1/2B に対応しています。VESA DDC (Display Data Channel) に対応のパソコンに接続して使用すると、プラグ＆プレイを実現できます。

接続するパソコンによっては、プラグ＆プレイが動作しない場合があります。

長時間ご使用時のご注意

長時間連続してご覧になると、目が疲れます。時々は画面から離れて、目を休めてください。

対応する信号について

本機は、24kHz ～ 109kHz の水平周波数、50Hz ～ 85Hz の垂直周波数に対応して入力を自動判別します。

推奨信号について

本機は、下記に示す推奨信号についての設定があらかじめ登録されています。

No.	信　号			水平周波数 (kHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)		
1	VGA	640 × 400	70.10	31.48	25.18
2		640 × 480	59.94	31.47	25.18
3	VESA	640 × 480	72.81	37.86	31.50
4		640 × 480	75.00	37.50	35.50
5		800 × 600	56.25	35.16	36.00
6		800 × 600	60.32	37.88	40.00
7		800 × 600	72.19	48.08	50.00
8		800 × 600	75.00	46.88	49.50
9		1024 × 768	60.00	48.36	65.00
10		1024 × 768	70.07	56.48	75.00
11		1024 × 768	75.03	60.02	78.75
12		1280 × 1024	60.02	63.98	108.00
13		1280 × 1024	75.03	79.98	135.00
14	W-XGA	1280 × 768	59.87	47.78	79.50
15		1366 × 768	60.02	47.71	85.50
16	750P(720P)	1280 × 720	60.00	45.00	74.25

- W-XGA 信号を入力する場合は、WXGA モードの設定を入力信号に合わせて行ってください。193
- 使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際には必ず垂直位置、水平位置、クロック、位相を調節してください。
- 垂直周波数 60Hz 以外の信号を入力したとき、動画像が正しく表示できないことがあります。
- 本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。
- リアル表示以外は、画像を圧縮（または間引き）処理をおこないますので忠実に再現されない場合があります。
- 本機は、下表に示す入力信号でご使用になることをおすすめします。フロントポーチやバックポーチが極端に長かったり、データ表示時間が極端に短かったりすると、登録された設定状態が正しく再現されない場合があります。

		フロントポーチ	同期幅	バックポーチ	ブランキング幅
水平タイミング	水平周波数 24kHz-52kHz	0.1 μs以上	1.0-3.8 μs	1.2 μs以上	3.5 μs以上
	水平周波数 52kHz-107kHz	0.1 μs以上	0.8-3.0 μs	1.1 μs以上	2.3 μs以上
垂直タイミング		9 μs以上	25 μs以上	400 μs以上	450 μs以上

- 信号のばらつきなどにより画面が適正に表示されない場合、自動調節やメニュー画面で調節してください。
- パソコンの解像度、色数などの設定を変更するときは、変更後の信号が上記に適合していることをあらかじめご確認ください。
  上記以外の信号に設定すると、画面が乱れたり、「信号を確認してください」が表示されたりします。
  上記以外の信号に設定して正常に表示される場合、メニュー画面での調整が正常に機能しないことがあります。
- ノートパソコンに接続して内蔵ディスプレイと同時に表示させると、パソコンによっては正常に機能しないことがあります。
- 信号が切り換わるときに画面にノイズが表示されることがありますが、故障ではありません。

メ　モ

ワイドモードについて

PC 入力時は、ノーマル、リアル、フルモードのいずれかのワイドモードを選択できます。34

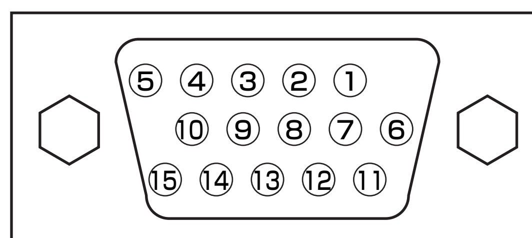
パソコンの表示位置について

- パソコンの種類によって、信号形式が異なるため、パソコン映像の位置がずれる場合があります。「PC 入力画面の位置調節」を参考にして位置を調節してください。192 193
- PC 入力の映像はマルチ画面で表示できません。

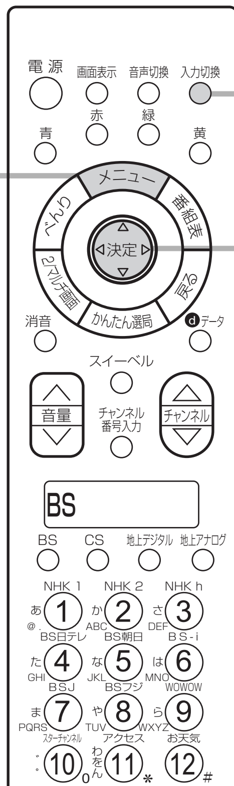
PC（RGB）入力端子のピン配列

ピン No.	信号
1	R ビデオ
2	G ビデオ
3	B ビデオ
4	（接続無し）
5	グランド
6	R グランド
7	G グランド
8	B グランド
9	＋ 5V（DDC）
10	グランド
11	（接続無し）
12	SDA（DDC）
13	水平同期
14	垂直同期
15	SCL（DDC）

ミニ D-Sub15 ピンコネクター



PC 入力画面の映像設定をしたいとき



1 入力切換ボタンで「PC」にする

画面に「PC」の表示が出ます。

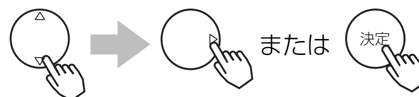


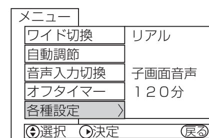


2 メニューボタンを押す

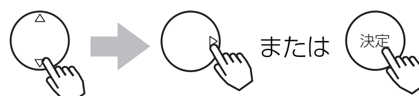


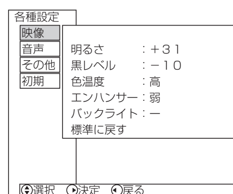
3 ▲▼で「各種設定」を選び、▶または決定ボタンを押す





4 ▲▼で「映像」を選び、▶または決定ボタンを押す

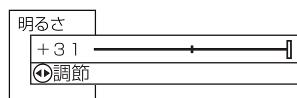




5 ▲▼で設定したい項目を選び、▶または決定ボタンを押し、◀▶または▲▼で設定する

(例)明るさを調節する場合

◀▶で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



▲▼ 映像設定項目	▶ → ◀	▶または▲▼	設定のポイント
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく。
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒の信号レベルが黒になるように。
色温度	低 / 中 / 高		通常は「高」でお使いください。
エンハンサー	切 / 弱 / 中 / 強		より細い部分の鮮明さをお好みに合わせて設定します。
(液晶テレビモニター接続時のみ) バックライト	暗くなる	明るくなる	お好みに合わせて見やすい明るさに。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選んで、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

6 設定が終了したら◀または決定ボタンを押す

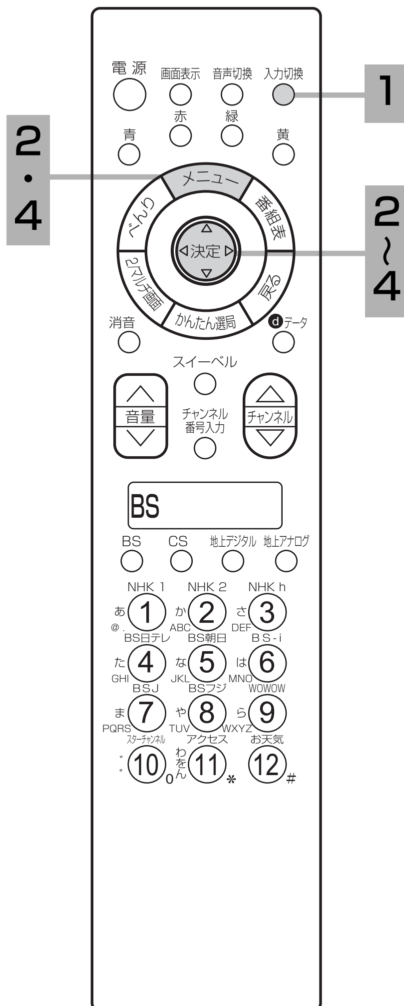
7 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- 明るさは、調節値が+ 31 のときに▶ボタンを押し続けると、+ 32 〜+ 40 の範囲まで調節できるようになります。(このとき表示は赤紫色に変わります。) 暗い映像ソースをご覧になる場合に有効ですが、映像の明るい部分では階調が損なわれることがあります。通常、明るさは+ 31 までの範囲内でお使いください。
- パソコンの停止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。焼き付きが軽度の場合には白パターンを表示させる 76、または動画を映すことによって目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。
- 消費電力を「低減(強)」に設定しているときは 69、明るさ(プラズマテレビモニター)またはバックライト(液晶テレビモニター)の調節はできません。

設置

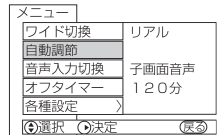
PC 入力画面の位置などを自動調節したいとき



1 入力切換ボタンで PC 入力を選び、調節したい信号を受信する



2 メニューボタンを押し、△▽で「自動調節」を選び、▷または決定ボタンを押す



3 △▽で「する」を選び、決定ボタンを押す

●垂直位置、水平位置、クロック、位相が自動的に調節されます。
●自動調節中は「自動調節中」と表示されます。



4 設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

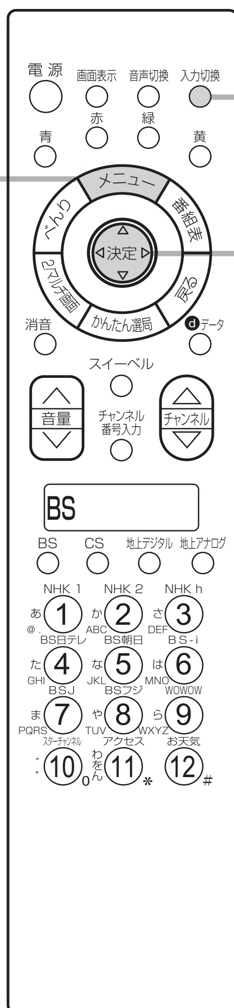
PC 入力画面表示について

●自動周波数表示が「入」のときは新しい信号を受け付けたときに周波数を表示します。193
（例）「H:48.4kHz, V:60.0Hz」
↑ ↑
水平周波数　垂直周波数
●同期信号が検出できなかったときは「信号を入力して下さい」と表示されます。
同期信号が検出できない状態が約 10 秒間継続すると「パワーセーブ」と表示したあと電源の表示ランプが緑から橙色になりパワーセーブモードに移行します。
●入力信号が本機の仕様に合わないか、不安定な状態のときは「信号を確認してください」と表示されます。

自動調節機能について

●自動調節機能は PC 入力の信号に対して垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動的に調節する機能です。
●自動調節を行う場合
自動調節は電源を入れ 20 分以上経過してから明るい、静止画信号を受信して行ってください。暗い信号（特に画面周辺部）や動画信号では正しく動作しないことがあります。
●入力信号の種類によっては、自動調節を行っても正しく調節されない場合があります。この場合はもう一度自動調節を行うか、マニュアルで調節してください。193

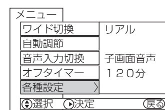
PC 入力画面の位置などをお好みに調節したいとき



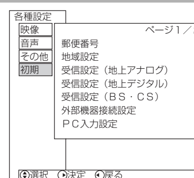
1 入力切換ボタンで PC 入力を選び、調節したい信号を受信する



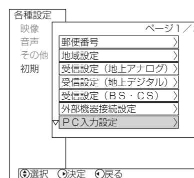
2 メニューボタンを押し、で「各種設定」を選び、または決定ボタンを押す



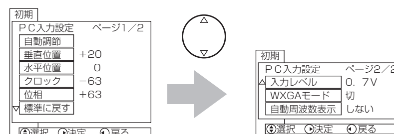
3 で「初期」を選び、または決定ボタンを押す



4 で「PC 入力設定」を選び、または決定ボタンを押す

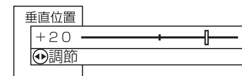


5 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、またはで設定する



（例）垂直位置を調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



調整項目		または	設定のポイント
垂直位置	映像が下へ移動する	映像が上へ移動する	映像の中心を画面中央に合せます。-31 〜 +31 までの設定ができます。（※）
水平位置	映像が左へ移動する	映像が右へ移動する	映像の中心を画面中央に合せます。-63 〜 +63 までの設定ができます。（※）
クロック	− 31 〜＋ 31 までの設定ができます。		縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。
位　相	0 〜 63 までの設定ができます。		横方向の縞や文字のにじみが最小になるように調節します。
標準に戻す	はい / いいえ		「はい」を選んで、決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。
入力レベル	0.7V/1.0V		通常は「0.7V」でご使用ください。白つぶれが激しいときは「1.0V」にします。
WXGA モード	切 /1280 × 768/1366 × 768		入力信号が WXGA の場合、PC の解像度に合わせて選択します。
自動周波数表示	しない / する		信号を切り換えるときの周波数表示がわずらわしいときは「しない」にします。

※パソコン信号によっては、設定範囲が狭くなる場合があります。設定値が赤紫色で表示されると、設定範囲を超えた場合であり、設定値が変わりますが、実際の画面位置などは変化しません。

6 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

他の項目を調節するときは、手順 5 、6 をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- PC 入力時の垂直位置、水平位置 , クロック、位相調節は自動調節することをおすすめします。
- 自動調節で正しく調節できないときは、マニュアルで調節してください。
- WXGA モードを表示する場合は、PC のグラフィックコントローラーとドライバーソフトウェアが対応している必要があります。

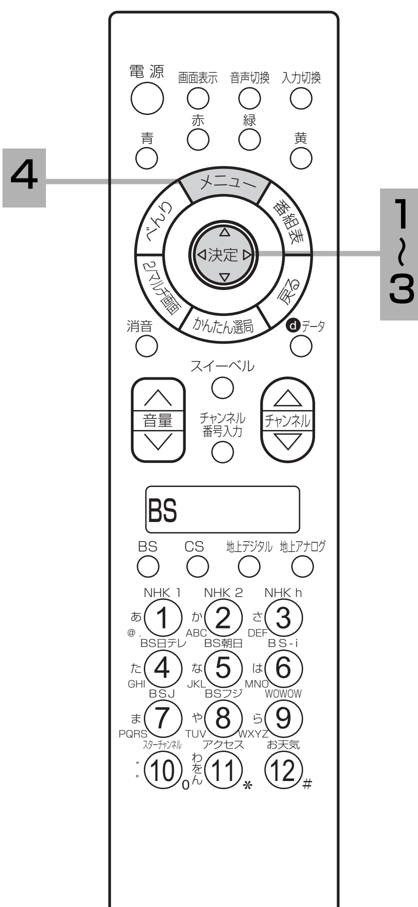
モニター出力、ゲームモード

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。

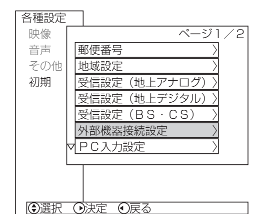
モニター出力（ビデオ）………… ビデオ入力端子に接続した映像および音声をモニター出力端子から出力したいときに設定します。ビデオ 1 ～ 4 入力端子ごとに設定することができます。事前に設定したいビデオ入力を選択してから設定してください。

ゲームモード（ビデオ 3）……… AVC ステーション前面のビデオ 3 入力端子に接続したテレビゲームの映像を選んだときの映像モードを自動的に選択します。

24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。



1 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す



2 で設定したい項目を選ぶ



設定項目		設定のポイント
モニター出力（ビデオ）	する / しない	ビデオ入力の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。
ゲームモード（ビデオ 3）	切 / 入	ビデオ 3 に切り換えると、映像モードを「ナチュラル」にします。（「入」設定時）184

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

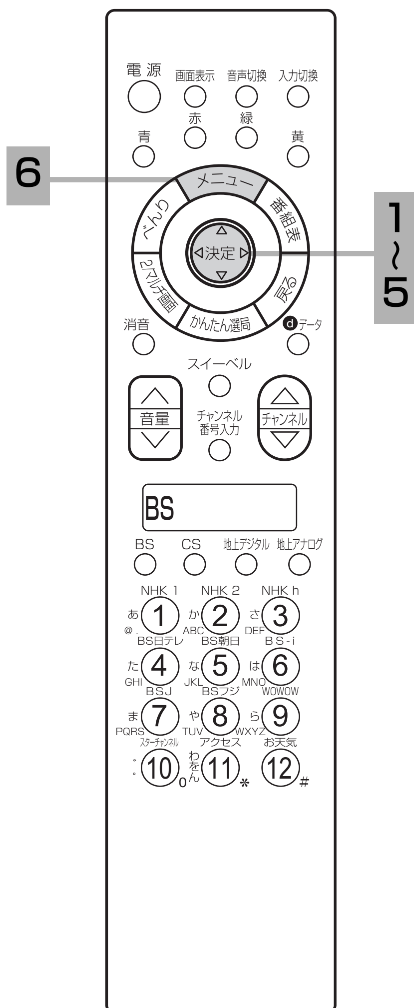
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

1 台のビデオに本機の「デジタル / モニター出力」と「モニター出力（ビデオ）：する」設定した「ビデオ入力」を同時に接続すると、発振によるノイズが生じることがあります。このような接続の場合は、「しない」に設定してください。

接続のない入力端子をスキップする

入力切換ボタンを押したときに、空いている入力端子を飛び越して、はやく画面を切り換えることができます。

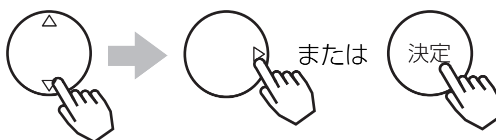


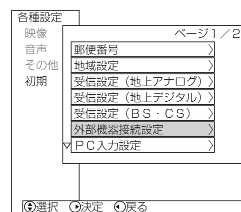
6

1～5

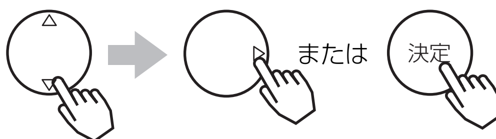
24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

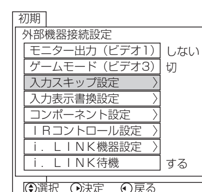
1 で「外部機器接続設定」を選び、　または決定ボタンを押す



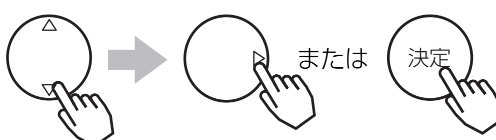


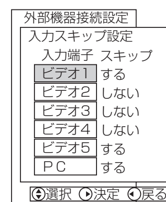
2 で「入力スキップ設定」を選び、　または決定ボタンを押す



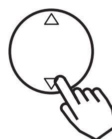


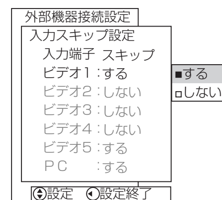
3 で入力スキップしたいビデオ入力端子を選び、　または決定ボタンを押す





4 で「する」選ぶ





5 設定が終了したら　または決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押して、メニューを消す

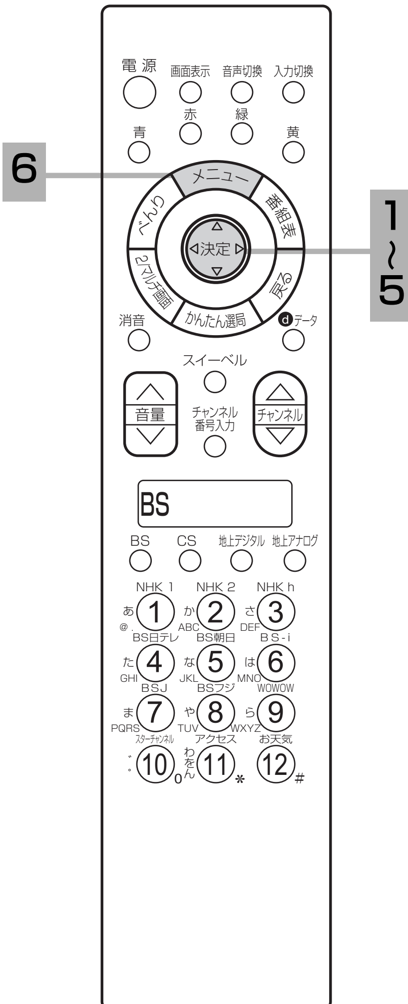
設置

外部機器と接続したいときの設定（つづき）

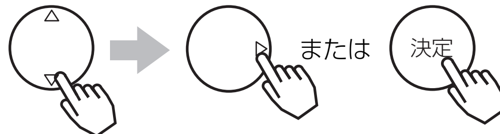
入力表示を書き換える

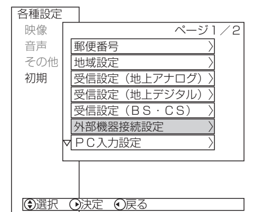
入力切換や画面表示ボタンを押したときなどに、ビデオ入力端子に接続した外部機器名を表示させることができます。

24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

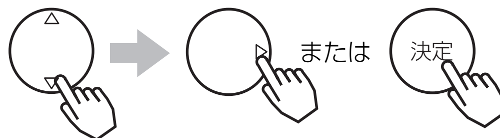


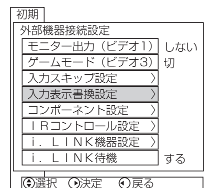
1 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す



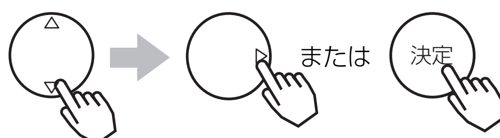


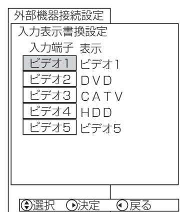
2 で「入力表示書換設定」を選び、 または決定ボタンを押す



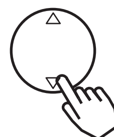


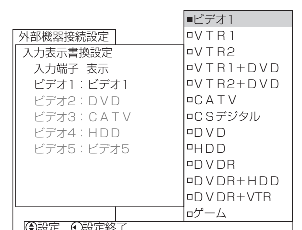
3 で入力表示を書き換えたいビデオを選び、 または決定ボタンを押す





4 でお好みの種類選ぶ





5 設定が終了したら または決定ボタンを押す

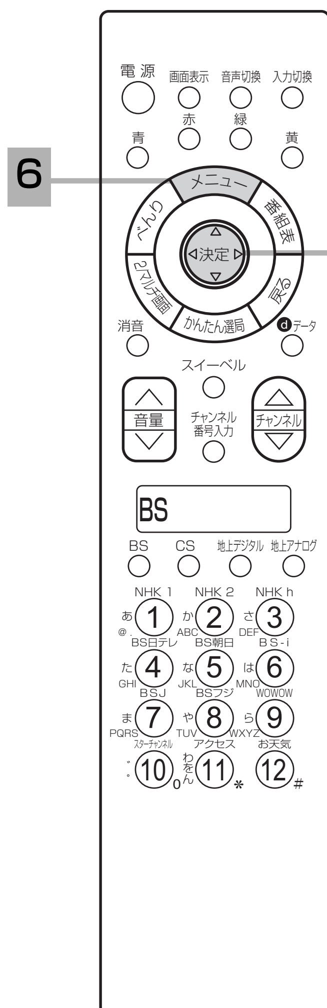
6 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- IR コントロール設定画面で外部機器を設定すると、入力表示書換設定の表示も自動的に書き換えられます。
（入力表示書換設定を変更しても、IR コントロール設定の外部機器は変更されません。）
- 外部機器名「HDD」および「ゲーム」は、IR コントロール設定の外部機器設定 198 では設定できません。

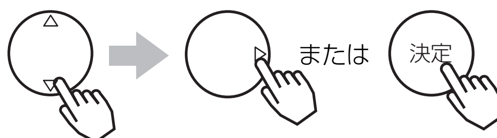
コンポーネントの設定

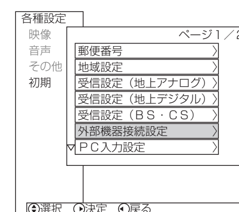
コンポーネント１（ビデオ４)、コンポーネント２（ビデオ５）に接続する機器を設定します。



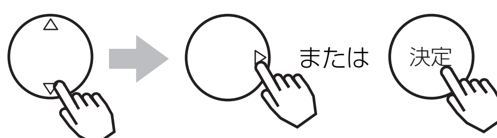
24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

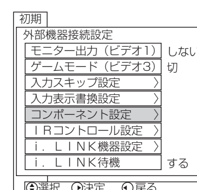
1 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す



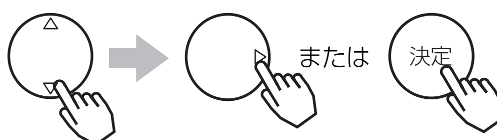


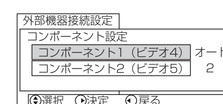
2 で「コンポーネント設定」を選び、 または決定ボタンを押す



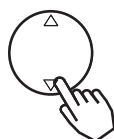


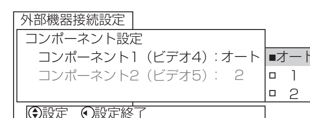
3 で設定したいコンポーネントを選び、 または決定ボタンを押す





4 でお好みの種類選ぶ





設定項目	→	設定のポイント
コンポーネント１（ビデオ４）	オート／1/2	コンポーネント１入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント２（ビデオ５）	オート／1/2	コンポーネント２入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。

5 設定が終了したら または決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押して、メニューを消す

メモ

コンポーネント設定について

コンポーネント信号は、接続する機器や信号によって色合いが異なる場合があります。通常は「オート」でお使いください。色合いが正しく再現できない場合は、「1」または「2」に設定してください。

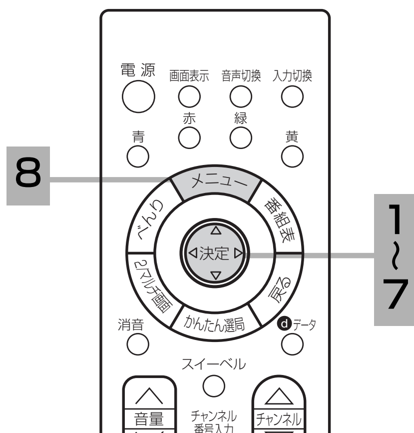
設置

外部機器と接続したいときの設定（つづき）

IR コントローラーを設定する

付属の IR コントローラーを使用すると、外部機器を操作したり、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。
131 に記載の IR コントローラーを正しく接続、設置し、下記の設定とテストを行ってください。

24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。
例）ビデオ 4 に DVD+HDD レコーダー（日立）を設定したいとき



対応メーカー一覧(2004 年 7 月現在)

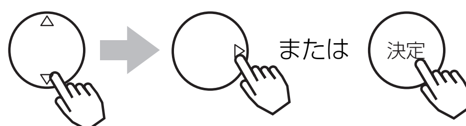
外部機器	対応メーカー
VTR1/2	日立、三菱、松下、ビクター、ソニー、東芝、シャープ、サンヨー、NEC、富士通ゼネラル、フナイ
VTR1/2+DVD プレーヤー（VTR1/2+DVD）	日立、三菱、松下、ビクター、ソニー、東芝、サンヨー、フナイ
CATV ホームターミナル（アナログチューナーのみ）	日立、松下、東芝、NEC、パイオニア、富士通、SA（サンエンティフィック・アトランタ）、DX アンテナ
CS デジタルチューナー	日立、松下、ビクター、ソニー、東芝
DVD プレーヤー	日立、松下、ビクター、ソニー、東芝、パイオニア
DVD レコーダー（DVDR）	日立、松下、東芝、パイオニア
DVD+HDD レコーダー（DVDR+HDD）	日立、松下、東芝、パイオニア、ソニー、ビクター、シャープ
VTR(一体型)DVD レコーダー（DVDR + VTR）	日立
AV アンプ	デノン、ヤマハ、パイオニア

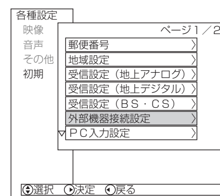
お知らせ

- ●ビデオ内蔵テレビの場合、本機からのリモコン信号で操作できない場合があります。
- ●表に記載しているメーカーの外部機器であっても、機器によっては対応できない場合があります。
- ●入力自動録画の設定 108 が「する」になっているときは、本機と接続した録画機器を IR コントローラーにより、予約録画することはできません。

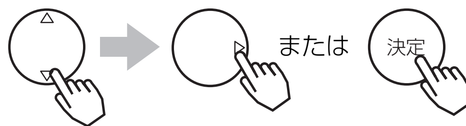
外部機器を設定する

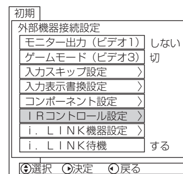
1 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す



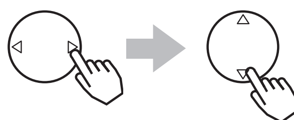


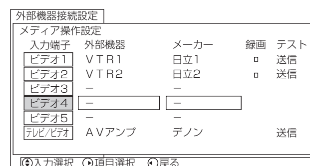
2 で「IR コントロール設定」を選び、 または決定ボタンを押す





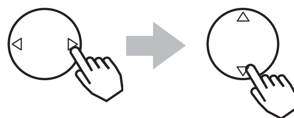
3 で「入力端子」の項目を選び、 で設定したいビデオ入力を選ぶ





入力端子「テレビ / ビデオ」は、テレビ（地上アナログ、地上デジタル、BS、CS）とビデオ入力で共通になっていることを意味します。

4 で「外部機器」の項目を選び、 で接続する外部機器を設定する





を押すたびに次のように切り換わります。

〔ビデオ 1 〜 5 のとき〕



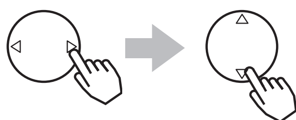
〔テレビ / ビデオ共通〕

− ←→AVアンプ

設定を解除するときは「−」を選択します。

メーカーを設定する

5 **◁▷で「メーカー」の項目を選び、△▽で外部機器のメーカーを設定する**



外部機器接続設定
メディア操作設定

入力端子	外部機器	メーカー	録画	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	□	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	□	送信
ビデオ3	–	–		
ビデオ4	DVDR+HDD	日立1	□	送信
ビデオ5	–	–		
テレビ/ビデオ	AVアンプ	デノン		送信

◁▷項目選択　△▽設定

△▽を押すたびにメーカー名が切り換わります。

メーカーには「日立 1」～「日立 7」などのように複数の番号が付いているものがあります。番号の数は機器やメーカーによって異なります。
手順 7 のテストを「日立 1」から順に行い、正しく動作するものを選んでください。

●外部機器の対応メーカーは、198の一覧表を参考にしてください。表に記載しているメーカーでも対応できない機種があります。
●「外部機器」の項目を設定していない場合は、「メーカー」を設定することはできません。先に「外部機器」を設定してください。また、「外部機器」の項目を変更したときは、「メーカー」の設定もクリアされます。

録画機器を設定する

IR コントローラーを使用して録画機器で録画する場合に設定します。

6 **◁▷で「録画」の項目を選び、決定ボタンを押す**



外部機器接続設定
メディア操作設定

入力端子	外部機器	メーカー	録画	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	□	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	□	送信
ビデオ3	–	–		
ビデオ4	DVDR+HDD	日立1	☑	送信
ビデオ5	–	–		
テレビ/ビデオ	AVアンプ	デノン		送信

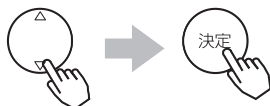
◁▷項目選択　(決定)設定

●外部機器が録画機器でない場合（CATV/CS デジタル /DVD/AV アンプ）は、「録画」の設定はできません。
●録画機器は同時に 1 台までしか設定できません。

テスト

7 **◁▷で「テスト」項目の送信を選び、決定ボタンを押す**

送信前に外部機器の電源を切っておきます。



外部機器接続設定
メディア操作設定

入力端子	外部機器	メーカー	録画	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	□	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	□	送信
ビデオ3	–	–		
ビデオ4	DVDR+HDD	日立1	☑	送信
ビデオ5	–	–		
テレビ/ビデオ	AVアンプ	デノン		送信

外部機器の電源が入ることを確認して下さい

◁▷項目選択　(決定)テスト送信

IR コントローラーから信号が 1 回送信され、「外部機器の電源が入ることを確認して下さい」のメッセージが表示されます。

8 **正しく設定されたらメニューボタンを押して、メニューを消す**



お守りください

● VTR1+DVD や HDD+DVD などの複合機器をお使いの場合、電源を入れたとき、かんたん操作を表示したときなど、実際の機器のモードと異なる場合があります。はじめに、かんたん操作画面上の入力モードボタンを押し、機器とのモードを合わせたうえでお使いください。
●手順 7 で送信やテストを行うときは、リモコンの決定ボタンを長押ししないでください。リモコンの決定ボタンを長押しすると、リモコンと IR コントローラーのリモコン信号が干渉して正しく動作しないことがあります。また、テスト中は他の機器のリモコン操作も行わないでください。

お知らせ

●手順 5 、6 、7 で電源が入らないときは、IR コントローラーの取り付け場所を変えて行ってみてください。何度かくり返しても電源が入らない場合は、対応できない機器と思われますので、「メーカー」の設定を「−」にして終了してください。
入力自動録画に対応した外部録画機器をご使用の場合は、「デジタル録画出力に連動して録画したいとき」108をご覧ください。
●かんたん操作画面で操作中、接続した外部機器の映像の状態により操作画面が消えることがあります。
●手順 4 で外部機器を設定すると、入力表示書換設定 196も同じ機器名が自動的に設定されます。

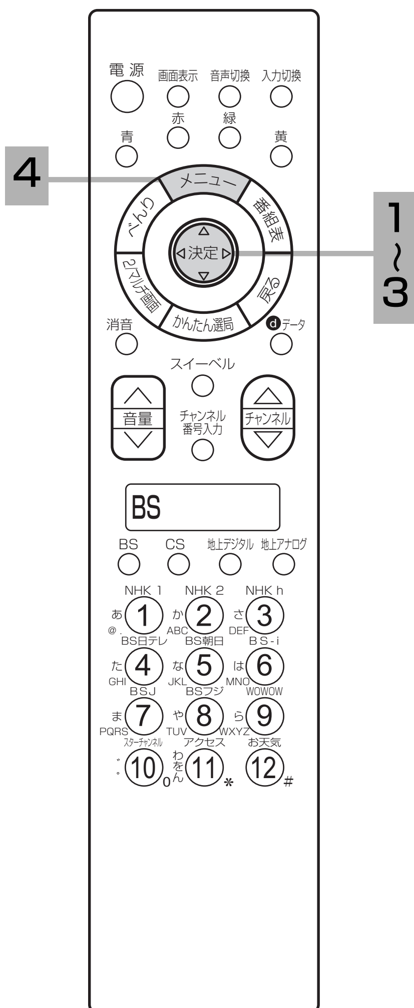
設置

外部機器と接続したいときの設定（つづき）

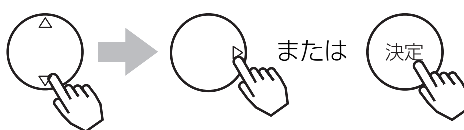
i.LINK 対応の D-VHS ビデオデッキなどを登録する

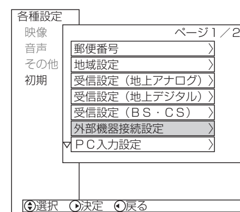
i.LINK 対応 D-VHS ビデオを操作したり、録画予約を行うには操作パネルに登録されている必要があります。操作パネルに登録できる i.LINK 対応 D-VHS ビデオは 3 台です。

24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

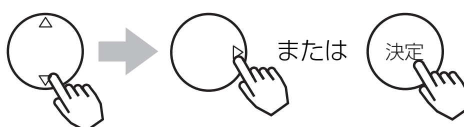


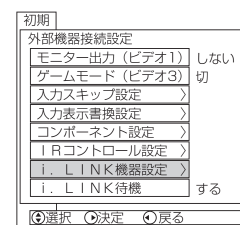
1 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す





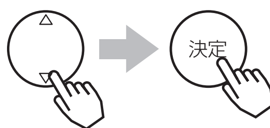
2 で「i.LINK 機器設定」を選び、 または決定ボタンを押す





3 で登録する機器を選び、決定ボタンを押す

操作パネルに登録されます。



外部機器接続設定
ｉ．ＬＩＮＫ機器設定

表示名	メーカー	機器名称	操作
D-VHS1	HITACHI	DT-DR20000	しない
D-VHS2	HITACHI	DT-DRX100	する
D-VHS3	HITACHI	DT-DRX100	する
D-VHS4	HITACHI	DT-DRX100	しない

選択 決定 設定変更 戻る 赤 機器削除

- 操作パネルに登録されている機器は「操作」が「する」に表示されます。登録解除された機器は「しない」になります。登録されていて、接続されていない機器は「不可」になります。
- 登録せれている機器を選び、決定ボタンを押すと、登録が解除されます。
- ３台登録されているときは、４台目は登録できません。登録されている機器のいずれか１台を、「しない」にして解除すれば登録できます。
- 表示されている機器は全削除のみ可能です。削除するときは、i.LINK ケーブルを本機から抜いた状態にして、赤ボタンを押します。

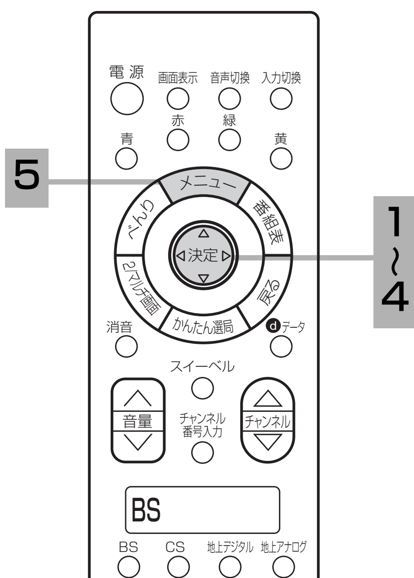
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- メーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINK ケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。
- リンクしている機器は登録解除できません。
- D-VHS ビデオ以外の機器は表示されません。
- 機器設定に表示される D-VHS ビデオは８台までです。

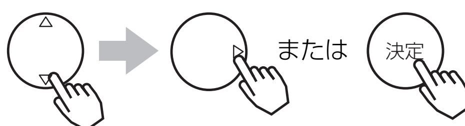
i.LINK 待機の設定

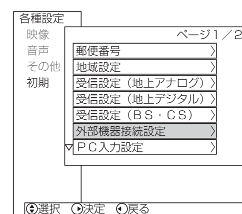
本機では電源オフのとき、i.LINK の接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。
i.LINK 対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなるように「しない」に設定してください。



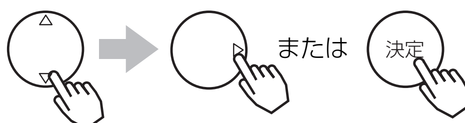
24 の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

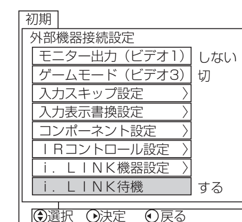
1 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す



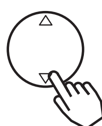


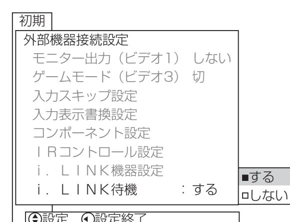
2 で「i.LINK 待機」を選び、 または決定ボタンを押す





3 で「する」を選ぶ





する	リモコンで電源オフにすると、映像･音声などの信号は停止しますが、i.LINK 接続された機器からの制御データの中継ができます。
しない	電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止し、i.LINK 接続された機器からの制御データの中継もできません。

お買い上げ時は「しない」に設定されています。

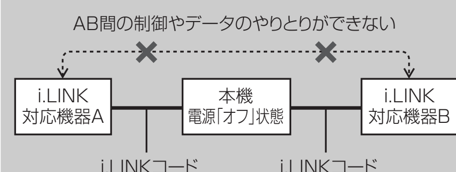
4 設定が終了したら または決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

i.LINK 待機設定について

- 複数の i.LINK 対応機器を i.LINK コードで接続した場合、i.LINK 待機の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合、i.LINK 待機の設定を「する」にすると、データのやりとりができます。電源オン（受像）時のみ i.LINK 対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。



- 予約録画の登録を行なっている場合、i.LINK 待機を「しない」に設定していても、「する」と同じ動作になります。
- i.LINK 待機を「する」に設定している場合でも、「その他のダウンロード」175でダウンロードを行っているときは、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりが一時的にできなくなります。

設置



パワーセービングとは、入力信号が無くなったことを検知して、自動的にテレビの消費電力を節約する省電力機能です。

パワーセービング状態は、電源のスタンバイ／受像ランプで確認できます。
パワーセービングシステムは、ビデオ入力信号を検知するビデオパワーセーブとPC入力信号を検知するPCパワーセーブがあります。

パワーセービングシステム	入　力	スタンバイ／受像ランプ	テレビの状態	内　容	お知らせ
ビデオパワーセーブ	ビデオ入力端子	緑色	オン状態	通常のビデオ入力の画面が表示されています。	メニューの設定でパワーセーブにならない様にすることも可能です。69
		橙色	パワーセーブ状態	ビデオ入力の信号が無い状態が約10秒続くとこの状態になります。	
PCパワーセーブ	PC(RGB)入力端子	緑色	オン状態	通常のパソコン使用状態です。	リモコンの入力切換ボタンで「PC」を選んでいるときに動作する機能です。
		橙色	パワーセーブ状態	パソコンからの水平／垂直同期信号のどちらかまたは両方が無い状態が約10秒続くとこの状態になります。	

メ　モ

スタンバイ／受像ランプが橙色に変わる前に、モニターの画面に「パワーセーブ」の表示が5秒間表示されます。

故障かな？と思ったら

電源プラグや専用接続ケーブルがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。


注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。


警告
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

全般

このようなときは…		よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像が出ない 音も出ない	スタンバイ / 受像ランプが消えている場合（AVC ステーション、モニターのどちらか一方または両方とも）	①電源コードが抜けている。 ②電源ブレーカーが落ちている。 ③主電源が切になっている。	①電源コードの挿入を確認してください。 ②電源ブレーカーを確認してください。 ③主電源を入にしてください。	121 28
	スタンバイ / 受像ランプが橙色の場合	ビデオ入力または PC 入力でのパワーセーブ状態です。	①選択した入力端子に接続してある機器の電源が入っているか確認してください。 ②選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	202
	スタンバイ / 受像ランプが橙色で点滅している場合	モニターと AVC ステーションを接続している専用接続ケーブルがはずれている、または挿入が不完全。	モニターと AVC ステーションの専用接続ケーブルの接続をやり直し（しっかり挿入して）、電源を入れ直してください。	120
	スタンバイ / 受像ランプが緑色の場合	①モニターと AVC ステーションを接続している専用接続ケーブルがはずれている、または不完全。 ②選択した入力端子に何も接続されていない。	①モニターと AVC ステーションの専用接続ケーブルの接続をやり直し（しっかり挿入して）、電源を入れ直してください。 ②入力切換ボタンで、機器が接続されている入力端子を選択してください。	120 32
	スタンバイ / 受像ランプの色が、AVC ステーションとモニターで異なる場合	モニターと AVC ステーションを接続している専用接続ケーブルがはずれている、または挿入が不完全。	モニターと AVC ステーションの専用接続ケーブルの接続をやり直し（しっかり挿入して）、電源を入れ直してください。	120
映像が出ない （音は出る）		①モニター内部の温度が高くなり、保護回路が動作している。 ②選択した入力端子の機器の接続に誤りがある。（映像信号線と音声信号線が異なる入力端子に接続されている。）	①モニターの主電源を切って、十分に冷やしてから（10 分程度放置）、再度電源を入れてください。 ※モニター背面の通気穴にほこりがつまったり、通気穴が布などでふさがれていないか、また狭いラックなどに入っていないか確認してください。 ②選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	—
音が出ない （映像は出る）		①スピーカーケーブルがはずれている、または挿入が不完全。 ②モニターと AVC ステーションを接続している専用接続ケーブルの挿入が不完全。 ③音量調節が 0 になっている。 ④消音ボタンを押している。 ⑤無信号チャンネル、弱電界チャンネルまたはゴースト妨害が大きいチャンネルを受信したときのみ音が出ない場合は、無信号音声ミュートが「入」になっている。 ⑥ヘッドホンプラグが差し込まれている。（ヘッドホンモード「1」のとき） ⑦選択した入力端子の機器の接続に誤りがある。（映像信号線と音声信号線が異なる入力端子に接続されている。）	①モニターとスピーカーのケーブルの接続を確認してください。 ②モニターと AVC ステーションの専用接続ケーブルの接続をやり直し、完全に挿入して、電源を入れ直してください。 ③音量ボタン (∧) を押してみてください。 ④もう一度消音ボタンを押してみてください。 ⑤無信号音声ミュートを「切」にする。 ⑥ヘッドホンプラグを抜く、またはヘッドホンモード「2」で使用する。 ⑦選択した入力端子の機器との接続に問題が無いか確認してください。	モニター (※) 120 29 42 55 55
リモコンで テレビが 操作できない		①リモコン送信機の乾電池の⊕⊖が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。 ③デジタル ch 固定になっている。録画予約実行中のため、デジタル ch 固定が自動的に設定された状態になっている。 ④リモコンスルー機能により、リモコン送信機の信号と IR コントローラーの信号が干渉している。	①乾電池を正しく入れてください。 ②乾電池を新しいものに交換してください。 ③デジタル ch 固定を解除する場合は、メニューのデジタル ch 固定設定を「しない」にします。 ④「かんたん操作」を「1」に設定するか、IR コントローラーからの信号がモニターのリモコン受信窓に飛び込まない位置に設置してください。	23 107 71

（※）モニターはモニターの取扱説明書をご覧ください。

ご参考

故障かな？と思ったら（つづき）

全般（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
テレビの電源を入れると、他の機器のリモコン操作ができない	リモコンスルー機能により、リモコン送信機の信号とIRコントローラーの信号が干渉している。	「かんたん操作」を「1」に設定するか、IRコントローラーからの信号がモニターのリモコン受信窓に飛び込まない位置に設置してください。	71
勝手に電源が切れる	①パワーセーブ、無信号電源オフ、無操作電源オフなどの低消費電力機能が設定されている。 ②モニター内部の温度が高くなり、保護回路が動作している。	①低消費電力機能の設定を確認してください。 ②モニターの主電源を切って、十分に冷やしてから（10分程度放置）、再度電源を入れてください。 ※モニター背面の通気穴にほこりがつまったり、通気穴が布などでふさがれていないか、また狭いラックなどに入っていないか確認してください。	69
赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドフォンにノイズが入ったり、音が聞こえない。	赤外線通信機器は通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありません。		—
ラジオに雑音がはいる	近くでラジオを使用しますと、雑音がはいる場合があります。モニターより十分に離してご使用ください。		—
モニターから「ジー」と音がする	ご使用中に、プラズマパネルや液晶パネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。 モニターと背面の壁が近いと、「ジー」音が壁に反射して大きく聞こえる場合があります。このような場合は、モニターを背面の壁と十分に離して設置してください。		—
モニターやAVCステーションの上部が熱い	モニターやAVCステーションは、長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。		—
電話機にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	付属のモジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
モニターの表面温度が高い	プラズマパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。また、液晶テレビは液晶パネルに内蔵された蛍光灯を点灯しています。そのため、パネル表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
画面上に周囲と異なる点（※）がある ※光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など。	プラズマテレビモニターや液晶テレビモニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
映像の内容により、縦状のノイズが出る（プラズマテレビ）	プラズマパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
AVCステーション部から「ブーン」と音がする	AVCステーション部のファンモーターが動作する音で、故障ではありません。本機では、気温が高くなると自動でファンモーターが動作します。特に密閉されたラックなどにAVCステーションを入れて設置した場合は、AVCステーション周囲の温度が高くなり、ファンモーターが動作しやすくなります。		—
電源を入れて数秒の間、AVCステーション部から「ブーン」と音がして、その後、音がしなくなる	AVCステーション部のファンモーターが動作して停止する音で、故障ではありません。本機では、電源を入れて数秒間は必ずファンモーターが動作しますが、気温が低い時は自動で停止します。		—

全般（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
映像の内容によって画面が明るくなったり暗くなったりする	本機ではモニター部の省電力機能により明るさを自動調節しています。この機能により、明るい部分(白)が多い映像の時は、画面が暗くなります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。		—
「ピシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		—
映像内容が変わったときに、前の映像が残って見える	静止画（画面表示、放送局側から送られてくる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。		—
スイーベル操作ができない	①モニターとスタンドとの専用接続ケーブルが抜けている。 ②「スイーベル操作」が「しない」に設定されている。 ③ご使用のモニターが W50-M3100 タイプ。	①モニターとスタンドの接続を確認する。 ②「スイーベル操作」を「する」に設定する。 ③プラズマテレビモニター W50-M3100 タイプは、スイーベル機能に対応していません。	45 モニター (※) 72
●映画の字幕や映像が切り換わるときに細かい横スジ状に見える。 ● CM やアニメーションなどのシーンの切り換わりで、映像が細かい横スジ状に見える。 ●テロップや字幕が流れたときに、文字がギザギザに見える。	これらの現象は映像の製作方法によるもので、故障ではありません。気になる場合は、フィルムシアターを「切」でご覧ください。		51
電源を入れてから、映像・音声が出るまで時間がかかる	電源を入れてから、映像･音声が出るまでに 15 秒程度の時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。 本機には高精度のデジタル信号処理回路が搭載されており、この回路の動作安定処理に要する時間です。		—
映像設定の操作ができない	メニューの「映像特殊設定」を「しない」に設定してください。		52
●画面の四すみが暗い。 ●画面全体に菱形の模様が薄く見える。	この現象は、シェーディング機能によるもので、故障ではありません。シェーディング機能は、放送局のロゴ表示などによる焼付き現象を生じにくくする為の機能です。 この現象が気になる場合は、「シェーディング」を「切」に設定してください。		74

地上アナログ放送のとき（VHF・UHF）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
カラー番組のときに色が出ない	色の濃さの設定が－(淡)側いっぱいになっている。	映像設定で色の濃さを選択し、＋にしてみてください。	48
画像が 2 重 3 重に映る (ゴースト)	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	①ビルが建つなど、周囲の状況についてお調べください。 ②アンテナの向きがずれていないかお調べください。	—
	GRT 設定（ゴーストリダクション）が「切」になっている。	GRT 設定を「入 1」または「入 2」に設定してください。	157
●雪が降っているような画面になりハッキリしない（スノーノイズ） ●「アンテナ・受信設定を確認して下さい」と表示がでる	アンテナの向きが正しくない。	アンテナの向きがずれていないかお調べください。	122
	アンテナ線がはずれている。	セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	
	受信設定が合っていない。	①お住まいの都市の地域番号で放送局を設定してください。 ②お好みに合わせてマニュアルによるチャンネル合わせをしてください。	144 152
	チャンネルの微調が合っていない。	電波状態によって同調を少しずらした方が見やすくなるときに調節してください。	154
	放送局から放送されていない。	放送されていない CH や深夜の放送されていない時間帯では、しばらく放置すると「アンテナ・受信設定を確認して下さい」の表示がでることがあります。	—

故障かな？と思ったら（つづき）

デジタル放送のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
(BS、110度CSデジタル放送のとき) ●映像や音声が出ない、または時々出なくなる ●映像が時々静止する ●画面に四角のノイズ (ブロックノイズ) が出たり、途切れたりする	① BS/CS アンテナの向きがずれている。 ②雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなる場合があります。	①「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」でアンテナ入力レベルが最大になる角度に BS/CS アンテナを調節してください。 ②天候が回復すると元に戻ります。	169
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 110 度 CS デジタル放送が受信できない	●アンテナが 110 度 CS デジタル放送に対応していない。 ●アンテナ線やブースター、分配器が 110 度 CS デジタル放送に対応していない。	アンテナ、アンテナ線、ブースター、分配器は、110 度 CS デジタル放送に対応したものを使用してください。	125
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々でなくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用すると、PHS デジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良い BS・CS デジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	125
(BS、110度CSデジタル放送のとき) ペイ・パー・ビュー番組が購入できない	①電話回線が正しく接続されていない。 ②「電話設定」が間違っている。 ③ B-CAS カードが正しく挿入されていない。 ④視聴履歴が自動送信できない。	①電話回線を正しく接続してください。 ②「電話設定」を正しく設定してください。 ③ B-CAS カードを正しく挿入してください。 ④「視聴履歴を送信する」で送信を行った後、もう一度購入操作を行なってください。	127 132 126 100
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。	—
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 有料放送の視聴ができない	① B-CAS カードが正しく挿入されていない。 ②有料放送を視聴するための手続きがされていない。 ③電話回線の接続や設定が不完全。	① B-CAS カードを正しく挿入してください。 ②視聴手続きを行なってください。 ③電話回線の接続と「電話設定」を確認してください。	126 127 132
(地上デジタル放送のとき) ●映像や音声が出ない、または時々出なくなる ●映像が時々静止する ●画面に四角のノイズ（ブロックノイズ）が出たり、音声が途切れたりする	① UHF アンテナの向きがずれている。 ② UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない。（特定チャンネル対応の場合など） ③●ブースターの調整やアッテネーターの設定が適切になっていない。 ●放送局の送出出力が変化した。	①「チャンネルの合わせかた（地域名）」のメニューで、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。 ②地上デジタル放送に対応していない場合は、対応する UHF アンテナを使用してください。 ③ブースターの調整を見直したり、アッテネーターの追加、削除により、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。	160 122 18
	ケーブルテレビを利用して CATV パススルー方式でご覧になる場合、「チャンネルの合わせかた (地域名)」のメニューで「CATV 受信」を「する」にして初期スキャンしてください。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブル会社へお問い合せください。		160
(地上デジタル放送のとき) 地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の放送エリアからはずれている。	お客様の居住されている地域で、地上デジタル放送が開始されているか確認してください。	18
	ケーブルテレビを利用して CATV パススルー方式でご覧になる場合、「チャンネルの合わせかた (地域名)」のメニューで「CATV 受信」を「する」にして初期スキャンしてください。詳しくは、ご加入または最寄りのケーブル会社へお問い合せください。		160
予約が実行されない	「視聴予約」で予約して、電源がオフ（または機能待機）になっている。	「視聴予約」で予約した場合は、電源オフ（または機能待機）にしていると予約が実行されません。	101

デジタル放送のとき（つづき）

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
字幕や文字スーパーが出ない	①メニュー画面などが表示されている。 ②メニューの「文字スーパー表示」が「しない」に設定されている。 ③字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。	①メニューや操作画面を消してください。 ②メニューの「文字スーパー表示」を「する」に設定してください。 ③字幕の場合、字幕が表示された番組を視聴してください。	113 81
本機から通信を行なうと電話器やファクシミリに呼び出し音が鳴る	一部の電話器やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	付属のモジュラー分配器を使用しないで、市販されている自動転換器（パソコン対応）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
電話器にノイズ（雑音）が入る	一部の電話器やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。	市販されている自動転換器、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。	—
ダウンロードを行なったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。		—
IR コントローラーで録画機器の録画予約ができない	① IR コントローラーが正しく設置できていない。 ②「IR コントローラーの設定」が正しくない。 ③録画機器の準備が正しくできていない。	① IR コントローラーを正しく接続、設置してください。 ②「IR コントローラーの設定」を正しく行なってください。 ③録画機器の電源や入力切り換え、ビデオカセットなどを確認してください。	131 198
i.LINK 対応機器が操作できない	①本機に対応していない i.LINK 対応機器を接続している。 ② i.LINK 対応機器と本機がリンクされていない。 ③ i.LINK 対応機器が本機の操作パネルに登録されていない。	①本機で制御できる i.LINK 対応機器をご使用ください。 ②操作パネル画面で操作する i.LINK 機器を選んでください。 ③機器設定画面で操作する i.LINK 機器を操作パネルに登録してください。	118 119 200
リモコンで電源を「切」にしても、機能待機ランプが点灯したまま	① i.LINK 待機の設定が「する」に設定されている。 ②デジタル ch 固定が「する」に設定されている。 ③ダウンロードしている。 ④有料放送の契約・購入状況や双方向サービスの情報を取得するため、自動的に機能待機状態（機能待機ランプが点灯）になる場合があります。		201 107 168 174
●デジタル放送やデータ放送の映像が静止したり、映らない ●デジタル放送やデータ放送の選局や操作ができない	下記①または②の処置を行ってください。 **①電源の入った状態で AVC ステーション本体の電源ボタンを 5 秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。（デジタルリセット）** ② AVC ステーションの電源プラグを抜いて、10 秒以上経過してから再度電源プラグを差し込んでください。		21
「ダウンロードに失敗しました」のメッセージが出る	電源プラグを抜いて、10 秒以上経過してから再度電源プラグを差し込んで、もう一度ダウンロードを行ってください。それでも失敗する場合は、当社お客様相談窓口までご相談ください。		175

PC 入力のとき

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
PC 入力時、画面位置がずれている	①信号の種類によっては、ずれる場合があります。 ②入力信号が本機の推奨信号と合っていない。	①位置の調節を行ってください。 ②本機の推奨信号を入力してください。	189 192
●画面がななめに流れる場合 ●画面全体に文字列を表示すると、縦縞がはいり、画面縦列の文字がにじんで表示される場合	パソコンの出力信号が切り換った時、パソコンの機器を換えた時におこることがあります。	クロックと位相を調節してください。（クロックを調節後、位相を調節してください。）	193
●画面全体に文字列を表示すると、画面全体の文字がにじんで表示される場合 あ ●細かい模様を表示させたときに画面がちらつく場合	パソコンの出力信号が切り換った時、パソコンの機器を換えた時におこることがあります。	位相を調節して、最もくっきり見えるようにしてください。	193
フリッカにより横線が上下に振動している（PC 入力時）	コンピューターの垂直周波数が 75Hz 未満の場合は、周波数を高くしてみてください（上限 85Hz）。現象が軽減される場合があります。		—
細かい文字がハッキリと見えない、フォーカスがぼやけたように見える	UXGA、SXGA などの高解像度信号で、細かい文字や図を表示すると、クロック、位相を調節してもぼやけて見える。	プラズマモニターや液晶モニターは、テレビ映像に最適化されて作られています。そのため、パソコン専用モニターと比べると画素数が合わないため、細かい文字や図形は、つぶれて表示されますので、VGA～XGA の解像度で、表示する文字フォントサイズを大きくしてご使用ください。	—

メッセージ表示一覧

本機ではデジタル放送のとき、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容または対処のしかた
選局中です。しばらくお待ちください	選局動作に少し時間のかかる場合もあります。
このチャンネルはありません コード：E204	選局したチャンネルでは、放送が行われていません。
現在、この放送は休止しています コード：E203	選局したチャンネルでは、現在、番組を放送していません。他のチャンネルをご覧ください。
アンテナ接続か放送電波に不具合があるため 現在、ご覧になれません コード：E202	・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「BS/CS アンテナ線の接続」125 と「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」169 をご覧になり確認してください。 ・放送局の整備などで電波が停止していることもあります。 ・雷雨や豪雨のような気象条件により、受信できなくなることがあります。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
降雨対応放送を受信中 コード：E201	雨などの影響で衛星からの電波が弱くなり、降雨対応放送に切り換わりました。天候が回復すれば自動的に元の放送に戻ります。
受信レベルが低下しています コード：E201	・一時的に電波が弱くなっている。 ・アンテナの調整が正しくできているか、アンテナ線は正しく接続されているか、「BS/CS アンテナ線の接続」125 と「CH 合せ (BS)」または「CH 合せ (CS)」169 をご覧になり確認してください。
コンバーター電源の保護が働いています 電源プラグを抜きアンテナ線を外して、アンテナ線とアンテナが異常ないか確認ください コード：E209	アンテナのコンバーター電源がショートしています。「BS/CS アンテナ線の接続」125 をご覧になり、アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。 誤って付属のアンテナ 2 分配器を BS/CS-IF 入力端子に接続していないか確認してください。122
このチャンネルは受信できません コード：E210	本機の対応していないサービスを選局しました。他のチャンネルを選局してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません コード：E200	このチャンネル（番組）は、本機では視聴することができません。
IC カードを正しく挿入してください	B-CAS カードが本体に正しく挿入されているか、「B-CAS カードの挿入」126 をご覧になり確認してください。
この IC カードは使用できません 正しい IC カードを挿入してください コード：EC01	B-CAS カード以外の IC カードが挿入されているか、カードの表裏が逆に挿入されています。B-CAS カードを正しく挿入してください。
ご購入できる時間は終了しています コード：8108	番組によっては、購入できる時間が限られていることがあります。他の時間帯で放送される番組をお選びください。
電話回線の接続をご確認のうえ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：8109	視聴履歴が正しく送信されていません。電話回線の接続と設定をご確認のうえ、「視聴履歴を送信する」100 をご覧になり、履歴送信を行ってください。
このチャンネルはご契約されていません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
契約期限が切れています ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご覧のチャンネルの契約内容をお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
このチャンネルはご覧になれません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	ご契約しているチャンネルかお確かめのうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
IC カードの交換が必要です ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CAS カードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
この IC カードは使用できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ ご連絡ください コード：＊＊＊＊	B-CAS カードに不具合が発生していることがあります。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。

＊＊＊＊には英数字が表示されます。

メニュー階層

メニュー画面からいろいろな機能が選択できます。各機能のくわしい説明は、（　）内のページをご覧ください。

●リモコンの戻るボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

メニュー（テレビ/ビデオ）

- **ワイド切換(34)**
- **画面サイズ微調(38)**
- **画面位置(39)**
- **映像モード(47)**
- **音声モード(53)**
- **オフタイマー(70)**
- **デジタルch固定(107)**
- **各種設定**
  - **映像**
    - **ページ1/3(48)**
      - 映像モード
      - 明るさ
      - 黒レベル
      - 色の濃さ
      - 色あい
      - 画質
      - 色温度
      - バックライト
      - 標準に戻す
    - **ページ2/3(49)**
      - ディテール
      - コントラスト
      - 黒補正
      - LTI
      - CTI
      - YNR
      - CNR
      - 色温度調節
      - 標準に戻す
    - **色温度調節(50)**
      - Rドライブ
      - Gドライブ
      - Bドライブ
      - Rカットオフ
      - Gカットオフ
      - Bカットオフ
      - 標準に戻す
    - **ページ3/3(51)**
      - 3次元Y/C
      - フィルムシアター
  - **音声**
    - **ページ1/2(54)**
      - 音声モード
      - 高音
      - 低音
      - バランス
      - ダイナミックバス(TruBass)
      - サラウンド
      - 標準に戻す
    - **ページ2/2(55)**
      - 音声AGC
      - ヘッドホンモード
      - ヘッドホン音量
      - 無信号音声ミュート
      - ミュート音量
      - デジタル音声出力
      - TruSurround
  - **その他**
    - **ページ1/2**
      - 入力自動録画(108)
      - かんたん操作(71)
      - スイーベル操作(72)
      - フルモード表示(73)
      - 映像特殊設定(52)
      - デジタル出力
        - 16:9映像出力(109)
        - 字幕表示出力(109)
      - 低消費電力
        - 消費電力(69)
        - ビデオパワーセーブ(69)
        - 無信号電源オフ(69)
        - 無操作電源オフ(69)
      - ワイド制御信号検出
        - EDTVⅡ検出(40)
        - ID-1検出(41)
        - S2端子検出(41)
        - D4端子検出(41)
      - スクリーンセーバー
        - シェーディング(74)
        - 画面移動(75)
        - 背景色(75)
        - 白パターン(76)
    - **ページ2/2**
      - 文字スーパー表示(113)
      - 放送時間変更対応(113)
      - 設定の初期化
        - データ放送(176)
        - 受信メール(176)
        - 受信設定(176)
      - メール表示(113)

メニュー（PC）

- **ワイド切換(34)**
- **自動調節(192)**
- **音声入力切換(61)**
- **オフタイマー(70)**
- **各種設定**

メニュー（2/マルチ画面）

- **ボタン機能(58)**
- **オフタイマー(70)**
- **デジタルch固定(107)**
- **各種設定**

メニュー階層（つづき）

- 初期
  - **ページ1/2**
  - 郵便番号(143)
  - 地域設定(143)
  - 受信設定（地上アナログ）
    - CHボタン(144)
    - CH合せ（地域番号）(145)
    - CH合せ（マニュアル）
      - 設定モード(153)
      - ボタン番号(153)
      - チャンネル(154)
      - 表示(154)
    - GRT設定(157)
    - CHスキップ設定(158)
    - 受信モード(159)
    - アッテネーター(124)
  - 受信設定（地上デジタル）
    - CH合せ（地域名）
      - 地域名(160)
      - CATV受信(161)
      - 初期スキャン(161)
      - 再スキャン(161)
      - チャンネル(161)
      - 受信レベル(161)
    - CH合せ（マニュアル）
      - ボタン番号(165)
      - チャンネル(165)
      - 3桁番号(165)
      - 受信レベル(165)
    - CHスキップ設定(166)
    - 受信周波数変更(167)
    - ダウンロード(168)
  - 受信設定（BS·CS）
    - CH合せ（BS）(169)
    - CH合せ（CS）(169)
    - CHスキップ設定（BS）(171)
    - CHスキップ設定（CS）(171)
    - 受信設定変更(172)
    - ダウンロード(174)
    - コンバーター電源(173)
  - 外部機器接続設定
    - モニター出力（ビデオ）(194)
    - ゲームモード（ビデオ3）(194)
    - 入力スキップ設定(195)
    - 入力表示書換設定(196)
    - コンポーネント設定
      - コンポーネント1（ビデオ4）(197)
      - コンポーネント2（ビデオ5）(197)
    - IRコントロール設定(198)
    - i.LINK機器設定(200)
    - i.LINK待機(201)
  - PC入力設定
    - **ページ1/2**
    - 自動調節(192)
    - 垂直位置(193)
    - 水平位置(193)
    - クロック(193)
    - 位相(193)
    - 標準に戻す(193)
    - **ページ2/2**
    - 入力レベル(193)
    - WXGAモード(193)
    - 自動周波数表示(193)
  - **ページ2/2(52)**
  - 制限設定
    - 視聴制限(110)
    - 暗証番号(110)
    - 視聴可能年齢(111)
    - 番組購入上限(111)
  - 電話回線
    - テスト(133)
    - 回線種別(132)
    - 内線発信(134)
    - 電話番号通知(135)
    - 優先接続解除(136)
    - 電話会社(137)
    - 待ち時間(138)
    - 視聴履歴送信(100)
  - ISP設定
    - IPアドレス取得(139)
    - IPアドレス(139)
    - サブネットマスク(140)
    - デフォルトゲートウェイアドレス(140)
    - MACアドレス(139)
    - LAN設定
      - 通信設定(141)
      - 通信速度(142)
      - 通信モード(142)
  - ダウンロード(175)

べんりメニュー

- **TV/BS·CS/ビデオ入力時**
  - **ページ1/2**
  - 2画面(56)
  - かんたんチェック(62)
  - マルチ画面(59)
  - 予約一覧(103)
  - 番組説明(81)
  - テロップEPG(82)
  - i.LINK操作(119)
  - かんたん操作(64)
  - サービス切換(83)
  - **ページ2/2**
  - メール·ボード(116)
  - 写真を見る(67)
  - 利用状況(99)
  - カード情報(117)

保証とアフターサービス（必ずご覧ください。）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。（保証書は、モニターとAVCステーションにそれぞれ1部同梱しています。）
保証対象装置：モニター　　お手持ちの機種名
AVCステーション AVC-H7000

保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

テレビの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

203～207ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	日立プラズマテレビ 日立液晶テレビ
形　　名	モニター　：お手持ちの機種名をご連絡ください。 AVCステーション：AVC-H7000 リモコン　：C-RL5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　）	年　月　日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につがなることもあります。

愛情点検



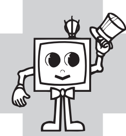
このような症状はありませんか

- ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- ●上下、または左右の映像が欠けて映る。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全





日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011―833―5088	札幌市白石区東札幌2条4―1―10
東北地区	022―232―5088	仙台市宮城野区扇町1―1―45
関東･甲信越地区	03―3834―8588	台東区東上野2―7―5(日立家電上野ビル)
中部地区	052―795―5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078―431―5088	神戸市東灘区甲南町1―3―8
中国地区	082―231―5088	広島市西区観音新町1―7―17
四国地区	0877―47―1088	坂出市林田町4285―143
九州･沖縄地区	092―281―5088	福岡市博多区店屋町7―18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

用語解説

3 次元 Y/C

Y（輝度）信号と C（色）信号を、水平・垂直・時間軸方向で分離し、映像ノイズを減らす回路です。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の横と縦の比が、16：9 になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

ワイドクリアビジョン放送

ワイドクリアビジョン放送は現行テレビジョン放送とも両立性を保ちつつ画面のワイド化と高画質化などが図られた新しいテレビジョン放送です。

コンポーネント信号

輝度信号（Y）と 2 つの色差信号（PB/CB, PR/CR) の信号に分離された映像信号です。DVD ソフト、BS・CS デジタル放送などを高画質で楽しむことができます。

CATV ホームターミナル

CATV のスクランブルのかかった有料放送を視聴するための専用チューナーです。CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。

D-VHS ビデオデッキ

VHS 方式のビデオデッキを基盤にした新しい VHS 方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。また、従来の VHS 方式での録画・再生も行えます。

デジタルハイビジョン放送

2000 年 12 月に本放送を開始した BS デジタル放送で行われる高精細度ハイビジョン放送です。現行のアナログハイビジョン放送と同等の高画質映像を楽しむことができます。
2003 年 12 月から順次放送開始予定の地上デジタル放送でもデジタルハイビジョン放送を楽しむことができます。

D 端子

デジタルチューナーなどのデジタル機器とテレビを接続するためのものです。コンポーネント映像信号を 1 本のケーブルで簡単に接続でき、走査線数、アスペクト比の制御信号も伝送することができます。入力または出力できる信号の走査線数により D1 ～ D5 に分類されます。本機は D4(525i, 525p, 1125i, 750P）に対応しています。

アスペクト比

テレビ画面（または映像信号）の横と縦の比をいいます。通常テレビは 4：3、ワイドテレビ（ハイビジョンテレビ）は 16：9 です。

525i(480i),525p(480p), 1125i(1080i),750P(720P)

放送される映像信号の走査線数、有効走査線数と走査方式の略称です。
1125i：走査線数 1125 本（有効走査線数 1080 本）、飛び越し走査方式（インターレース）
525p ：走査線数 525 本（有効走査線数 480 本）、順次走査方式（プログレッシブ）
525i ：走査線数 525 本（有効走査線数 480 本）、飛び越し走査方式（インターレース）
750p ：走査線数 750 本（有効走査線数 720 本）、順次走査方式（プログレッシブ）
これらの中で、1125i と 750p をデジタルハイビジョン放送と呼びます。また、別の呼称として次のように表示することがあります。
・HD（High Definition）
・SD（Standard Definition）

インターレース

飛び越し走査方式のことで、従来のテレビ放送（NTSC 標準方式）で採用している走査方式です。走査線を 1 本おきに飛び越して表示し、2 枚で 1 画面（フレーム）を見せる方式です。

プログレッシブ

順次走査方式のことで、上から順に走査して表示する方式です。飛び越し走査方式に比べて、画面のチラツキ感の少ないきれいな映像を見ることができます。

索　引

英数字

あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

たちつてと

なにぬねの

はひふへほ

まみむめも

やゆよ

らりるれろ

わ

ご参考

仕　様

形　名		AVC-H7000
電　源		AC100V 50/60Hz 共用
動作保証温度		5 ～ 35℃
消費電力		37W 待機時 0.3W
受信チャンネル		VHF1ch ～ 12ch,UHF13ch ～ 62ch,CATV(C13 ～ C38), 地上デジタル 000 ～ 999ch, BS デジタル 000 ～ 999ch,110 度 CS デジタル 000 ～ 999ch（右旋円偏波）
パソコン入力信号	映像信号	水平周波数 24kHz ～ 109kHz、垂直周波数 50Hz ～ 85Hz（アナログ RGB、0.7Vp-p/1.0Vp-p 切り換え可能）
	同期信号	H/V セパレート、(TTL レベル)
端　子		ビデオ 1 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 1 音声入力端子 (右)(左) …… 1 個 ビデオ 1S2 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 2 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 2 音声入力端子 (右)(左) …… 1 個 ビデオ 2S2 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 3 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 3 音声入力端子 (右)(左) …… 1 個 ビデオ 3S2 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 4 映像入力端子 …… 1 個 ビデオ 4 映像入力端子（D4 映像） …… 1 個 ビデオ 4 音声入力端子 (右)(左) …… 1 個 ビデオ 5 映像入力端子（D4 映像） …… 1 個 ビデオ 5 音声入力端子 (右)(左) …… 1 個 モニター映像出力端子 …… 1 個 モニター音声出力端子 (右)(左) …… 1 個 モニター S2 映像出力端子 …… 1 個 PC(RGB) 映像入力端子 …… 1 個 PC 音声入力端子 (右)(左) …… 1 個 音声モニター出力端子 (右)(左) …… 1 個 i.LINK 端子 …… 2 個 光デジタル音声出力端子 …… 1 個 電話回線接続端子 …… 1 個 ヘッドホン端子 …… 1 個 IR コントローラー端子 …… 2 個 UHF/VHF 混合アンテナ端子 …… 1 個 BS/CS-IF 入力端子 …… 1 個 地上デジタル入力端子 (CATV パススルー対応) … 1 個 LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX) …… 1 個 拡張端子 …… 1 個 （サブウーハー出力端子）※ …… 1 個
外形寸法		幅 43.0 ×高さ 8.5 ×奥行 24.0(cm)
質　量		3.7kg
付属品		リモコン送信機 …… 1 個 単 4 形乾電池 …… 2 個 電源コード（1.8m） …… 1 本 取扱説明書 …… 1 冊 専用接続ケーブル (3m) …… 1 本 クリーニングクロス …… 1 個 他詳細は 19 を参照してください。

※サブウーハー出力端子はモニター部にあります。

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

●日本国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料放送契約上禁止されています。
(It is strictry prohibited , as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

修理などアフターサービスに関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、故障かな？と思ったら 203 ～ 207 をご覧ください。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

株式会社 日立製作所
〒 244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
QR61261 Ⓐ
Printed in Japan TM-K(S)